librettoガイド

libretto

もくじ

《オンラインマニュアル》もあわせてご覧ください。

参照 「1章 6-2 パソコンの画面で見るマニュアル」

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。
必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

⚠警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 ほかのマニュアルへの参照の場合…『　』 オンラインマニュアルへの参照の場合…《　》

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows 7です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows または Windows 7

Windows® 7 Home Premiumを示します。

オンラインマニュアル

パソコン上で見ることのできる、PDFマニュアル「オンラインマニュアル」を示します。
デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコン（ ）をダブルタップして起動します。

WiMAXモデル

WiMAX機能を搭載しているモデルを示します。

無線LANモデル

無線LAN機能を搭載しているモデルを示します。

Bluetoothモデル

Bluetooth機能を搭載しているモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『libretto ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。
  画面右上の［表示方法］が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。

（表示例）

- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
  画面の表示と異なる場合がありますが、読み換えてご使用ください。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Live、Windows Media、Aero、MSN、SkyDriveは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Intel、インテル、インテルCoreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- ATOKは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- ATOKは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- microSDロゴは商標です。（ ）
- microSDHCロゴは商標です。（ ）
- LaLaVoice、ConfigFreeは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
- 「駅探」は登録商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
- McAfee、SiteAdvisorおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。

- TRENDMICRO、ウイルスバスターはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- 「PC引越ナビ」は、東芝パソコンシステム株式会社の商標です。
- Javaはサンマイクロシステムズ社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Google ツールバーはGoogle Inc.の登録商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- FlipBook、FlipViewerはE-Book Systems,Inc.の登録商標です。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- WiMAXはWiMAX Forumの商標です。
- TouchSenseはImmersion Corporationの登録商標です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ(CPU)の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高1,000メートル（3,280フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温5～30℃（高所の場合25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。
これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。
なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

■64ビットプロセッサに関する注意

64ビット対応プロセッサは、64ビットまたは32ビットで動作するように最適化されています。
64ビット対応プロセッサは以下の条件をすべて満たす場合に64ビットで動作します。

- 64ビット対応のOS（オペレーティングシステム）がインストールされている
- 64ビット対応のCPU/チップセットが搭載されている
- 64ビット対応のBIOSが搭載されている
- 64ビット対応のデバイスドライバーがインストールされている
- 64ビット対応のアプリケーションがインストールされている

特定のデバイスドライバーおよびアプリケーションは64ビットプロセッサ上で正常に動作しない場合があります。
プレインストールされているOSが、64ビット対応と明示されていない場合、32ビット対応のOSがプレインストールされています。
このほかの使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をタップする

8 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。

- 本製品に内蔵されている画像は、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。この場合、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルおよびファイアウォール規則などは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新のものにアップデートする必要があります。最新版へのアップデートは、ご使用開始から90日間に限り無料で行うことができます。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。
  ウイルスチェックが全く行われない状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、市販のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザー使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 詳細について《オンラインマニュアル》

9 ［ユーザーアカウント制御］画面について

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

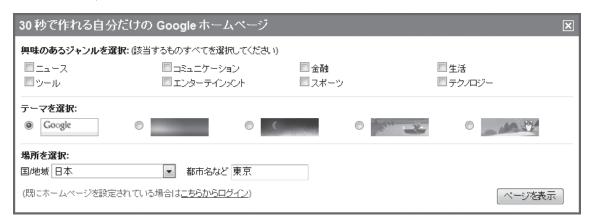
10 環境依存文字について

環境依存文字とは、入力した文字を漢字へ変換するときに表示される候補の右側に「環境依存文字」または「環境依存文字（unicode)」と表示されるものです。

（表示例）

ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「?」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
また、アプリケーション上でファイルの編集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。
このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。
CD／DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

11 iGoogle設定画面について

本製品は、インターネットを利用してさまざまな情報を見るために有効な、「iGoogle」を搭載しています。
「iGoogle」は「Internet Explorer」を起動すると自動的に接続するよう設定されているので、「Internet Explorer」を起動したとき、次のような設定画面が表示される場合があります。

［興味のあるジャンルを選択］、［テーマを選択］でそれぞれ設定したい項目をチェックして、［ページを表示］ボタンをタップしてください。
インターネットに接続した状態で［Internet Explorer］を起動すると、設定画面で選択した項目の情報が表示されるようになります。

1 章

パソコンの準備

この章では、パソコンの置き場所、Windowsのセットアップ、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備と、本体各部の名前や基本的な使いかたについて説明しています。
また、本製品にご用意しているマニュアルについて説明しています。

1 使う前に確認する

1 箱を開けたらまずはこれから

■箱の中身の確認

『libretto ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 東芝PCあんしんサポート『東芝PCサポートのご案内』

■型番と製造番号を確認

パソコン本体のバッテリーパックを取りはずした下の面に型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 記載位置について「本章 2 - 3 バッテリー面」

2 忘れずに行ってください

■使用する前に

本製品を使用する前に、必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザー使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』を読んでください。

■保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。
保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

本書は、取扱説明書等の注意書きによる正常なご使用において故障した場合、裏面の「無料修理規定」に準じて、無料修理をお約束するものです。

★お買い上げ日(Purchase Date) 西暦　年　月　日

★お客様情報
お名前 フリガナ
ご住所 〒□□□-□□□□
電話：

本書は日本国内での保証と、ILW対象製品（上記※欄に ILW が記載）の海外保証（制限付）を証明します（ILWについては、対象製品に付属の「東芝PCサポートのご案内」をご覧ください）。

If " ILW " appears at the top of this section, this product is covered by the ILW from the date of purchase for the period shown in parenthesis.

※本書の再発行はいたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ご販売店様へ：必ずお買い上げ日、貴販売店名等をご記入の上、お客様にお渡しください。

★ご販売店名、住所、電話番号

株式会社東芝 デジタルプロダクツ&ネットワーク社
PC第一事業部　(Printed in China)

■海外保証を受けるには

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。
利用方法、保証の詳細は『東芝PCサポートのご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

■Product Keyは大切に保管

本製品には、パソコン用基本ソフト（OS）としてマイクロソフト社製のWindowsが用意されています。このWindowsにそれぞれ割り当てられている管理番号を「Product Key」といいます。Product Keyはパソコン本体のバッテリーパックを取りはずした下の面に貼られているMicrosoft®の「Certificate of Authenticity」というラベルに印刷されています。
このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

3 最適な場所で使う

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。

次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

- 安定した場所に置きましょう。
  不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
  暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
  磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
  照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
  ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
  携帯電話も無線通信装置の一種です。
- パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。
  通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

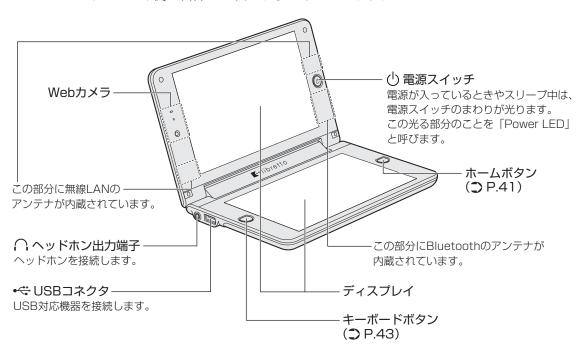
2 各部の名称 －外観図－

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明は、各参照ページや《オンラインマニュアル》を確認してください。

お願い 外観図について

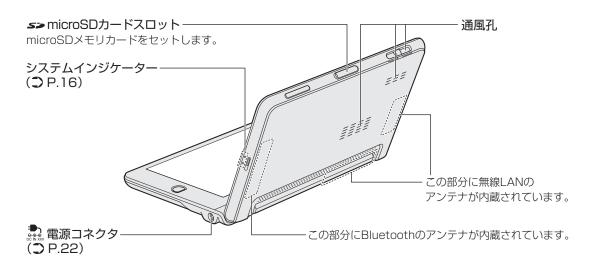
- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。ご購入のモデルの仕様については、『libretto ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

1 ディスプレイ面

librettoのディスプレイ側の各部は、次のようになっています。

お願い 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」を確認してください。

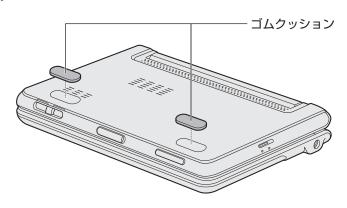
2 ロゴ面

ディスプレイとは反対の、「libretto」ロゴがある側の各部は、次のようになっています。

お願い 通風孔について

- 通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
  通風孔を通して外の空気を取り込んだり、内部の空気を排出したりすることでパソコン内部に熱がこもるのを防いでいます。
  通風孔をふさがないでください。

■ディスプレイを180度開いて使用する場合

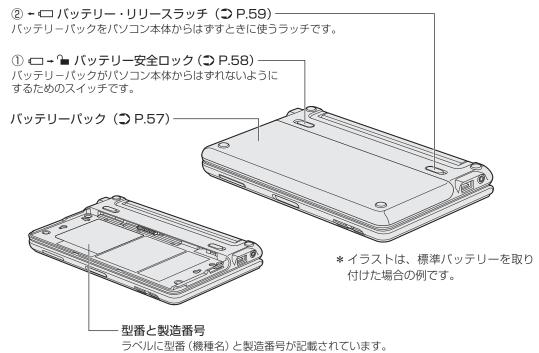
librettoは、ディスプレイを180度開いた状態で操作することができます。その場合は、ロゴ面を傷つけないように、付属のゴムクッションの使用をおすすめします。
「libretto」ロゴがある面を上に向けて本体を置き、次の図の位置を参考にゴムクッションを貼り付けてください。

1章 パソコンの準備

1 システムインジケーター

システムインジケーターは、点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。

(バッテリーアイコン)	DC IN／Battery LED	電源やバッテリーの状態 参照 P.40
(ワイヤレスアイコン)	ワイヤレスコミュニケーションLED	無線通信機能の状態 参照《オンラインマニュアル》

3 バッテリー面

ディスプレイとは反対の、バッテリーパックが取り付けられている側の各部は、次のようになっています。

お願い Windowsのラベルについて

- 本製品のバッテリーパックを取りはずした下の面には、正規のWindowsであることを証明する、Microsoft®の「Certificate of Authenticity」というラベルが貼ってあります。はがしたり汚したりしないでください。

3 画面にタッチして操作する

本製品では、2つの画面の表面を指でタッチすることによって、さまざまな操作を行うことができます。
マウスやキーボードを使うことなく、画面を指でさわってアイコンを選択したり、画面をスクロールしたりします。
ここでは、指を使った基本的な操作を説明します。

1 選択する（タップ）

アイコン、文字などを選択するには、目的のアイコンやウィンドウなどを1回軽くタッチします。
この操作を「タップ」と呼びます。
アイコンなどを選択すると、色が変わります。

＜タップする前＞

写真
ファイル フォルダー

＜タップした後＞

写真
ファイル フォルダー

❑ダブルタップ

ダブルタップすると、ファイルを開いたりアプリケーションを起動できます。
目的の位置を、すばやく2回タップします。

❑プレス アンド ホールド

プレス アンド ホールドすると、メニューが表示され、そこから行いたいことをタップして選択できます。①指を画面上の目的の位置におき、数秒そのままにします。

②指を置いている所に輪が表示されます。

③指をはなすとメニューが表示されます。

④表示されたメニューから目的の操作をタップして実行できます。

❏ ドラッグ アンド ドロップする

ドラッグ アンド ドロップをすると、アイコンやウィンドウを移動したり、複数の文字やアイコンを選択したりできます。目的のアイコンなどに合わせて、指を画面につけて①、そのまますべらせます②（ドラッグ）。アイコンなどが目的の位置に移動したら、指をはなします③（ドロップ）。

メモ

- ボールペンなどのペン先やツメで、指の代わりに操作することはできません。

4 Windows(ウィンドウズ)を使えるようにする

1 Windowsセットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。
Windowsのセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。
セットアップには約10～20分かかります。
作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

1 操作の流れ

パソコンの準備

電源コードとACアダプターを接続する
▼
電源を入れる
▼

電源を入れてから

国または地域を確認する
▼
ユーザー名とコンピューター名を入力する
▼
パスワードを入力する
▼
ライセンス条項に同意する
▼
Windowsの保護の設定をする
▼
日付と時刻の設定を確認する
▼
セットアップ完了

お願い セットアップをするときの注意

■ **周辺機器は接続しないでください**

- セットアップはACアダプターと電源コードのみを接続して行います。
  セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。

■ **途中で電源を切らないでください**

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ **操作は時間をあけないでください**

- セットアップ中に入力が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう１度表示するには、画面をさわってください。
  画面をさわっても復帰せず、Power ⏻ LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

2 電源コードとACアダプターを接続する

⚠警告

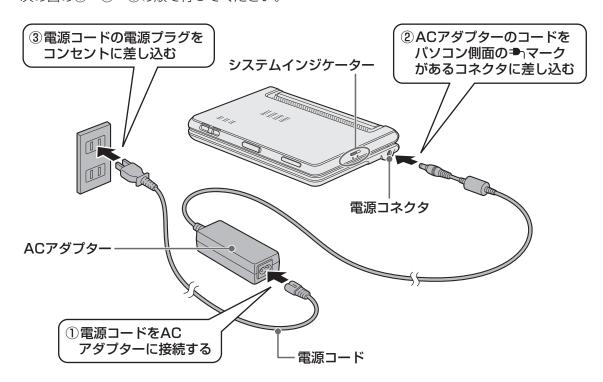
- **ACアダプターは本製品に付属のものを使用する**
  本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（＋）（－）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **パソコン本体にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する**
  順番を守らないと、ACアダプターのDC出力プラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。
  また、ACアダプターのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

⚠注意

- **付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない**
  付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

お願い 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- あらかじめ、「付録 1 - 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」を確認してください。

次の図の①→②→③の順で行ってください。

接続すると

システムインジケーターのDC IN／Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。DC IN／Battery LEDが緑色に点灯したら、充電完了です。

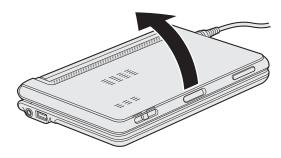
参照 DC IN／Battery LED「本節 3 - 電源に関する表示」

メモ

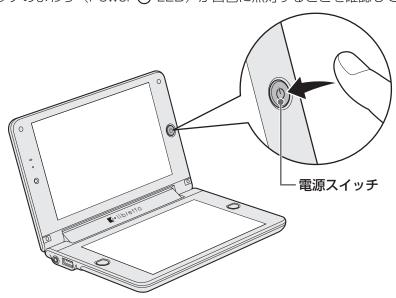
- バッテリー充電中でもパソコンを使用することができます。

参照 詳細について《オンラインマニュアル》

3 電源を入れる

1 パソコンのディスプレイを開ける

片手で電源コネクタがある方のディスプレイをおさえた状態で、もう一方のディスプレイをゆっくり起こしてください。

2 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。
電源スイッチのまわり（Power ⏻ LED）が白色に点灯することを確認してください。

これでパソコンの準備は完了です。
続いてWindowsのセットアップに進みます。

4 Windowsのセットアップ

1 ［国または地域］欄に「日本」と表示されていることを確認し、［次へ］をタップする

ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されます。

次の手順の前に「ユーザー名」とは

複数のユーザーが1台のパソコンを別々に使用することができます。
そのとき、使用するユーザーによって違う環境でWindowsを起動できるので、Windows起動時にどのユーザーが使用するのかを識別する必要があります。そのために、複数のユーザーが使用する場合は、ユーザーそれぞれを区別するための名前を登録します。

次の手順で入力するユーザー名は、管理者ユーザーを登録するためのものです。どんな名前でも良いので、自分であることを識別できるような名前を入力してください。
管理者ユーザーとは、複数のユーザーでパソコンを使用する場合、全体を管理して、ほかのユーザーに使用制限を設定したりできるユーザーです。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

メモ　Windowsキーボード

Windowsセットアップで文字や記号を入力するときは、Windowsキーボードを使用します。画面にキーボードが表示されるので、入力したい文字や記号のキーをタップしてください。

Windowsキーボードは、ドラッグ アンド ドロップして表示位置を動かすこともできます。その場合、上図点線で囲まれた部分を指でさわってください。

2 ユーザー名を入力する

［ユーザー名を入力してください］と書いてある下の欄に、Windowsキーボードをタップして管理者ユーザーの名前を入力してください。**ユーザー名は、半角英数字で入力することをおすすめします。**

「｜」（カーソル）が表示されている位置から文字の入力ができます。

画面に表示されているキーボードをタップして、ユーザー名を入力してください。

「libretto」と入力するときは、キーボードで l i b r e t t o とタップします。

■ユーザー名に使えない文字

ユーザー名を入力するとき、次の文字を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@

■キーをタップしても表示されないときは

キーをタップしても文字が表示されない場合は、入力欄に「｜」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、［ユーザー名を入力してください］の下の欄をタップしてください。

■入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう1度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する .... Bksp キーをタップする
- カーソルの右側の文字を削除する .... Del キーをタップする

次の手順の前に「コンピューター名」とは

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

3 コンピューター名を入力する

ユーザー名を入力すると自動的に入力されます。
変更する場合は、[コンピューター名を入力してください] と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。**半角英数字以外は使用しないでください**。また、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

4 [次へ] ボタンをタップする

パスワードを設定する画面が表示されます。

次の手順の前に「パスワード」(Windowsログオンパスワード)とは

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。
ここでは、Windowsを起動するときに入力しないと、Windowsを起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windowsログオンパスワード」と呼びます。

お願い

- パスワードを忘れると、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

5 パスワードを入力する

[パスワードを入力してください]と書いてある下の欄に、Windowsログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。
Windowsログオンパスワードは半角英数字で127文字まで設定できますが、8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。
Windowsログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

1章 パソコンの準備

6 Windowsキーボードの Tab キーをタップする

［パスワードをもう一度入力してください］と書いてある下の欄にカーソルが移動し、Windowsキーボードが画面の上の方に移動します。

7 パスワードをもう1度入力する

手順 5 で入力したWindowsログオンパスワードを、もう1度入力してください。

次の手順の前に「パスワードのヒント」とは

設定したWindowsログオンパスワードを忘れてしまったときのために、ヒントを入力しておいて、パスワード入力画面で表示させることができます。

8 パスワードのヒントを入力する

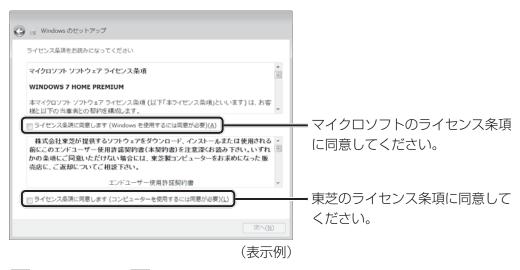
［パスワードのヒントの入力］と書いてある下の欄をタップして、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

9 ［次へ］ボタンをタップする

［ライセンス条項をお読みになってください］画面が表示されます。

10 マイクロソフトと東芝のライセンス条項の内容を確認し、それぞれの[ライセンス条項に同意します]の左にある □ をタップする

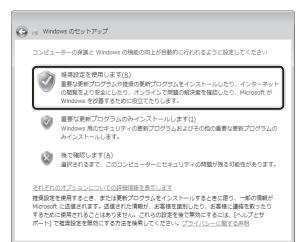
ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windowsやコンピューターを使用することはできません。
表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ▼ ボタンをタップします。

（表示例）

□ をタップすると ☑ になります。

11 [次へ] ボタンをタップする

（表示例）

[コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください] 画面が表示されます。

12 ［推奨設定を使用します］をタップする

［日付と時刻の設定を確認します］画面が表示されます。

13 日付と時刻を確認する

コンピューターの内蔵時計の日付と時刻が合っているかどうか、確認します。合っていない場合は、正しい内容に設定してください。

（表示例）

［タイムゾーン］は、欄の右にある ▼ をタップして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をタップしてください。

年・月の左右にある ◀ または ▶ をタップすると、月ごとに順に表示が切り替わります。
年・月を合わせてから、該当する日をタップしてください。

時刻表示の右にある ▲ または ▼ をタップすると、順に数字が切り替わります。
変更したい時／分／秒をタップしてから ▲ または ▼ をタップしてください。

メモ

- 日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。
- 日付と時刻はWindowsセットアップ終了後に設定することもできます。

参照 日付と時刻の設定『Windows ヘルプとサポート』

14 ［次へ］ボタンをタップする

（表示例）

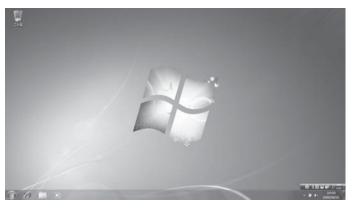
［ワイヤレスネットワークへの接続］画面が表示されます。

15 無線LANの設定を省略するので、［スキップ］ボタンをタップする

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

16 ユーザーの設定が準備される

Windowsセットアップが終了すると、コンピューター内にユーザーの設定が用意されます。
しばらくお待ちください。

Windowsが起動します。

（表示例）

「東芝サービスステーション」のメッセージが表示された場合は、次の「本節 5 「東芝サービスステーション」について」を確認してください。

メモ

- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう1度表示するには、画面をさわってください。
  画面をさわっても復帰せず、Power ⏻ LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。
- パソコンを起動するときに流れるWindowsの起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

5 「東芝サービスステーション」について

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するためのソフトウェアです。以降の説明をお読みのうえ、「東芝サービスステーション」を使用して、本製品を最新の状態に保つことを強くおすすめします。
このソフトウェアは本製品の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。使用できるように設定する前に、詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されますので、よくお読みください。

メモ

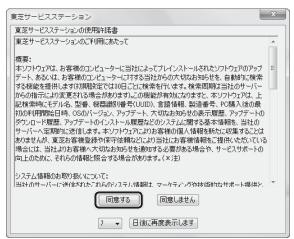
- 「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「東芝サービスステーション」は、本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーのうち、一部についてアップデートをお知らせします。「あなたのdynabook.com」や「dynabook.com」、「Microsoft Update」などのサイトにアクセスし、よくあるご質問FAQやウイルス・セキュリティ情報などとあわせてご利用ください。

設定方法

「東芝サービスステーション」を使用できるように設定する方法は、次のとおりです。

1 パソコン起動後、しばらくしてから通知領域に表示されるメッセージを確認する

メッセージ「東芝から重要なお知らせがあります。ココを確認してください。」が表示されるので、このメッセージをタップしてください。
または、[スタート] ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［サービスステーション］をタップしてください。
初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

2 内容を確認し、[同意する] ボタンをタップする

（表示例）

使用許諾書に同意すると、以降は、ソフトウェアのアップデートや当社からのお知らせを検出する機能が、パソコンを起動すると自動的に動作します。

使用方法

■ソフトウェアのアップデートがある場合

本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーにアップデートがあることを検知すると、メッセージ「X件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

■本製品に対するお知らせがある場合

本製品に対する当社からのお知らせが準備されたことを検出すると、メッセージ「X件の新しいお知らせがあります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

手動で、ソフトウェアのアップデート、またはお知らせを確認したい場合は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［サービスステーション］をタップし、［すべてのアップデートを確認］をタップしてください。

6 Windowsセットアップが終了したら

日付と時刻の確認

日付と時刻は、画面右下の［通知領域］に表示されています。
正しく設定されているかどうか確認してください。

（表示例）

正しく設定されていない場合は、『Windows ヘルプとサポート』を確認して設定してください。

Windows 7でわからない操作があったとき

Windows 7の使いかたについては、［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をタップして、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。
Windows 7の最新情報は次のホームページから確認できます。

- Windows 7について
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windows/default.mspx

Windowsを最新の状態にする

「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

参照 「Windows Update」『Windows ヘルプとサポート』

リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアを作成しておくことをおすすめします。
リカバリーメディアでは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元（リカバリー）することができます。

参照 リカバリーメディアについて《オンラインマニュアル》

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリーについて「4章 買ったときの状態に戻すには」

バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のパソコンのトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。
一度なくしたデータを復旧することはできません。
万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

＊本製品でCDやDVDにバックアップをとる場合、外付けのCD／DVDドライブが必要です。

参照 バックアップについて《オンラインマニュアル》

2 電源を切る

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照 スリープについて《オンラインマニュアル》

⚠警告

- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線機能を無効に設定した上で、パソコンの電源を切ってください。他の機器に影響を与えることがあります。
  ・無線機能は、「TOSHIBA Flash Cards」の［ワイヤレス］のカードで無効にすることができます。［ワイヤレス］のカードをタップして、表示されたアイコン群から をタップし、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
  ・スリープや休止状態では、パソコンが自動的に動作することがあるため、飛行を妨げたり、他のシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  ・電源を切った状態でもパソコンが自動的に動作するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効に（解除）してください。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- データの書き込み中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

電源を切るには、次のように操作してください。

1 ［スタート］ボタンをタップする

2 ［シャットダウン］をタップする

Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power ⏻ LEDが消灯します。

お願い　電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

■再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう1度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。
再起動するには、次のように操作してください。

①［スタート］ボタン（ ）をタップし、 をタップする
②表示されたメニューから［再起動］をタップする

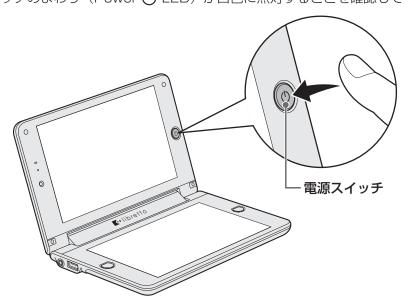
3 電源を入れる

Windowsセットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

お願い 電源を入れる前に

- 各スロットに記録メディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、パソコン本体より先に周辺機器の電源を入れてください。

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。
電源スイッチのまわり（Power ⏻ LED）が白色に点灯することを確認してください。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。画面上のキーボードでパスワードを入力して Enter をタップしてください。

Windowsが起動し、デスクトップ画面が表示されます。

電源に関する表示

電源の状態はシステムインジケーターの点灯状態で確認することができます。
電源に関係あるインジケーターとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
DC IN／Battery LED	オレンジ色の点灯	ACアダプターを接続している（バッテリー充電中）
	緑色の点灯	ACアダプターを接続している（バッテリー充電完了）
	オレンジ色の点滅	充電が必要 または異常警告 （ACアダプター、バッテリーまたはパソコン本体の異常）
	消灯	ACアダプターを接続していない
Power LED（電源スイッチのまわり）	白色の点灯	電源ON
	オレンジ色の点滅	スリープ中
	消灯	電源OFF、休止状態

＊電源に関するトラブルについては、「5章 2 Q&A集」を参照してください。

メモ

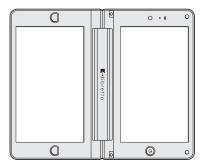
- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう1度表示するには、画面をさわってください。
  画面をさわっても復帰せず、Power LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

5 librettoを使ってみよう

librettoには、2つの画面があります。それぞれの画面に便利なソフトウェアを表示させてタッチするだけで、マウスや外付けキーボードが無くても自由に操作することができます。
以降は、次の図のように、電源スイッチがある方を上にして、画面を上下に並べて置いた状態を前程として説明します。この状態を、「横置き」と呼びます。また画面を左右に並べた状態を、「縦置き」と呼びます。

右上の ? をタップすると、librettoソフトウェアのヘルプが起動します。

メモ

- librettoを縦置きで使用する場合は、下図のようにWebカメラやキーボードボタンが上にくるようにしてください。

- 縦置きにした場合、冷却を優先します。CPU性能を最大で使用する場合は、「東芝HWセットアップ」の［CPU］タブで「CPU周波数の設定」を「常時高速モード」に設定してください。

1 Libretto Task Bar

Libretto Task Barに表示されている各アイコンについて説明します。

TOSHIBA Bulletin Board（トウシバ ブリティン ボード）

「TOSHIBA Bulletin Board」を画面に表示します。「本節- 3 TOSHIBA Bulletin Board」を参照してください。

TOSHIBA ReelTime（トウシバ リールタイム）

最近開いたファイルを、すぐに探し出すことのできる「TOSHIBA ReelTime」を起動します。「TOSHIBA ReelTime」の詳しい内容については、「TOSHIBA ReelTime」のヘルプを参照してください。ヘルプは「librettoソフトウェア」のヘルプから参照できます。

ファイルブラウザ

librettoに設定されているドライブやファイル、フォルダーを一覧表示できます。ファイルブラウザの詳しい内容については、「librettoソフトウェア」のヘルプを参照してください。

音量調節

音量調節ウィンドウを表示します。音量を大きくしたり小さくしたり、また消音したりすることができます。音量調節の詳しい内容については、「librettoソフトウェア」のヘルプを参照してください。

アプリケーション切り替え

起動しているアプリケーションの一覧を表示します。各アプリケーションを切り替えたり、終了させたりすることができます。アプリケーション切り替えの詳しい内容については、「librettoソフトウェア」のヘルプを参照してください。

TOSHIBA Flash Cards（トウシバ フラッシュ カーズ）

さまざまな機能を簡単な操作で実行できる、「TOSHIBA Flash Cards」を起動します。画面の輝度調節や無線機能のON／OFF、電源プランの変更などを、画面に表示されたカードから操作できます。「TOSHIBA Flash Cards」の詳しい内容については、《オンラインマニュアル》を参照してください。

ズーム

画面を部分的に拡大表示できます。[ズーム]アイコンをタッチしてから拡大したい箇所をタッチしてください。拡大表示されます。拡大表示している部分以外をタッチすると、ズーム機能は終了します。

Libretto Touch Pad

タッチパッドを画面に表示します。画面上をタッチパッドのように使用することができます。Libretto Touch Padの詳しい内容については、「librettoソフトウェア」のヘルプを参照してください。

Libretto Keyboard

キーボードを画面に表示します。「本節- 2 Libretto Keyboard」を参照してください。

2 Libretto Keyboard

キーボードボタンを1回押すと、下画面にキーボードが表示されます。

＊Libretto Task Barでキーボードアイコン（ ）をタッチして表示させることもできます。

この画面上のキーボードをタッチして、実際のキーボードと同じように文字を入力することができます。

表示されるキーボードには、用途に合わせていろいろなパターンがあります。詳しい内容については、「librettoソフトウェア」のヘルプを参照してください。

メモ

- Libretto Keyboardでは、すべてのキー入力（ショートカット）をカバーすることはできません。

Libretto KeyboardはImmersion CorporationのTouchSense® Technologyを使用しています。

役立つ操作集

文字入力モードを「かな入力」にした状態でLibretto Keyboardを表示すると、キーボード上に平仮名が表示されます。

既定値はローマ字入力になっているので、キーボードに平仮名は表示されません。

3 TOSHIBA Bulletin Board（トウシバ ブリティン ボード）

ネットワークの設定やパソコンの管理、サポートサイトへの接続などに便利な、「TOSHIBA Bulletin Board」を起動します。「TOSHIBA Bulletin Board」の詳しい内容については、「TOSHIBA Bulletin Board」のヘルプを参照してください。ヘルプは「librettoソフトウェア」のヘルプから参照できます。

6 マニュアルで見るパソコンの使いかた

Windowsのセットアップが終わったら、いろいろな機能を楽しみましょう。
本製品には、本書をはじめとした冊子のマニュアルと、パソコンの画面で見るオンラインマニュアルがあります。知りたいことに合わせて、各マニュアルをお読みください。
本製品の操作説明は、大半がパソコンの画面に表示させて見るオンラインマニュアルにあります。紙の冊子マニュアルをできるだけ少なくすることによって、少しでも環境保全に役立てるよう、エコ活動を推進しております。

1 冊子マニュアル

ここでは、本製品に付属している次のマニュアルについて説明します。

「librettoガイド」（本書）

パソコンを使い始めるときにお読みください。
Windowsセットアップ方法やパソコンの基本操作について説明しています。インターネットや周辺機器を利用するにあたって知っておきたいことや、バッテリーについて、トラブルが起きたときの基本的なQ＆A、購入時の状態に戻す方法の説明があります。

「東芝PCサポートのご案内」

修理や訪問サポートの窓口など、サポート体制について紹介しています。

2 パソコンの画面で見るマニュアル

ここでは、パソコンの画面で見るマニュアル（電子マニュアル）について紹介します。

「オンラインマニュアル」

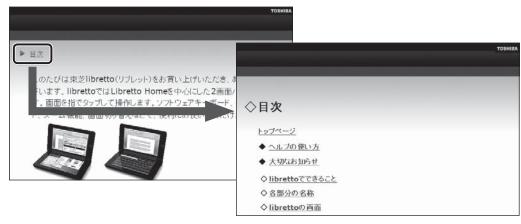
libretto本体に関するさまざまな操作から活用方法、周辺機器やバッテリーの充電方法などを説明しています。
デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコン（ ）をダブルタップして起動します。

「librettoソフトウェア」のヘルプ

librettoの基本的な操作、画面の切り替え方法、利用できるアプリケーションなどについて説明しています。画面上で操作するタッチパッドやキーボード、音量調整や簡単な画面操作など、librettoを使用するうえで便利な方法がたくさん書かれています。
次の手順で起動してください。

1 下画面右上の、? をタップする

「librettoソフトウェア」のヘルプが起動します。

2 画面左上の［目次］をタップする

ヘルプの目次が表示されます。
知りたい内容をタップしてお読みください。

2章

インターネットを快適に利用するために
ーウイルスチェック／セキュリティ対策ー

インターネットを使っていると、コンピューターウイルスなどによって知らない間にトラブルが襲いかかってくるおそれがあります。
この章では、インターネットを使うための準備と、より安全にインターネットを利用する方法について説明します。

1 インターネットを使うには

ホームページの閲覧をするには、ケーブルの接続や設定が必要です。

準備

■ プロバイダーに加入する

プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

■ ブラウザソフトを用意する

標準装備の「Microsoft Internet Explorer」でホームページの閲覧ができます。

■ ウイルスチェックソフトを設定する

インターネットやメールに添付されたファイルでコンピューターウイルスに感染する場合があります。コンピューターウイルスに感染してしまうと、パソコンのデータが破壊され、パソコンが使用できなくなることがありますので、インターネット接続やメールのやり取りをする前に、ウイルスチェックソフトの設定をしてください。

参照 ウイルスチェックソフトについて「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

メモ

- 本製品に用意されているウイルスチェックソフトの設定をする前に、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。日付と時刻が合っていないと、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。
  日付と時刻はWindowsセットアップ終了後に設定することもできます。

  参照 日付と時刻の設定『Windows ヘルプとサポート』

使用するまでの流れ

無線LANに接続する

参照 無線LANで接続する《オンラインマニュアル》

アクセスポイントの接続先は、プロバイダーとの契約時に送られてきた説明書などを確認してください。

▼

インターネットとメールの設定をする

インターネット接続の設定をするときは、プロバイダーとの契約時に送られてきた説明書などを用意してください。
メールのやり取りをする場合は、メールソフトの設定も必要です。

参照 メールソフトの説明書、メールソフトのヘルプ

メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。
メールソフトには、「Windows Liveメール」などがあります。

メモ

- Windows Liveメールの制限事項、メールの設定方法や送受信方法などの詳細は、「Windows Liveメール」のヘルプを参照してください。
- メールの送受信を行う前にウイルスチェックソフトを設定することをおすすめします。

参照 ウイルスチェックソフトについて「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

▼

設定完了

2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
－ウイルス・インターネットセキュリティ－

本製品に用意されているウイルス・インターネットセキュリティ用のアプリケーションを紹介します。

お願い 使用するにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 3 ウイルスチェック・セキュリティ対策について」を確認してください。

役立つ操作集

Windows セキュリティセンターについて

「Windows セキュリティセンター」は、セキュリティの設定をしたり、Windows ファイアウォール、自動更新、ウイルスチェックソフトの状態をチェックしたりするなど、パソコンのセキュリティを向上させるお手伝いをします。

セキュリティセンターはパソコンが危険にさらされている場合、通知領域に アイコンなどで警告します。
詳しい操作方法は『Windows ヘルプとサポート』を確認してください。

1 コンピューターウイルス対策

コンピューターウイルスは、インターネットや、メールに添付されたファイルを介してパソコン内部に入り込んでしまうことがあります。
コンピューターウイルスに感染すると、次のようなことがおこる可能性があります。

- パソコンのデータが破壊され、パソコンを使用できなくなる
- インターネットを経由して、パソコンに残している個人情報にアクセスされる

コンピューターウイルスの感染や不正アクセスからパソコンを保護するため、初めてインターネットに接続したりメールを送受信する前に、ウイルスチェックソフトをインストールしてください。インストール後も、普段から定期的にコンピューターウイルスの検出を行うようにしてください。

本製品には、次のウイルスチェックソフトが用意されています。

- **ウイルスバスター**
  ウイルスの発見や駆除はもちろん、個人情報保護やネットワークセキュリティ対策ができるアプリケーションです。初心者のかたにも使いやすくなっています。

参照 「本節 3 ウイルスバスターによるウイルス対策」

市販のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを使用する場合

市販のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを使用する場合は、本製品に用意されているウイルスチェックソフトをパソコンからアンインストール（削除）してから、市販のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールしてください。
アンインストールは、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」で行います。

2 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、パソコン画面上でいろいろな情報を見ることができ、大変便利です。しかし、インターネットは、いい情報だけを入手できるとは限りません。また、情報を入手するだけでなく、知らない間にこちらのパソコンの情報を引き出されてしまうこともあります。
「よくない情報」の代表的なものは、「コンピューターウイルス」です。また、特に気をつけたいものは、インターネットを通じて、こちらのパソコンの情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出する「スパイウェア」と、閲覧したユーザーに悪影響を与えるおそれのある「有害サイト」です。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使って、快適にインターネットを楽しみましょう。

メモ

- 本製品にはユーザーの年齢やホームページのカテゴリによって表示するサイトを制限できる「i-フィルター5.0」が用意されています。

参照 「本章 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する」

3 ウイルスバスターによるウイルス対策

本製品に用意されている「ウイルスバスター」には、次の機能があります。

- コンピューターウイルスを検出／除去する
- フィッシング詐欺への対策をする
- スパイウェアを検出して処理する
- 個人情報の漏えいを防止する
- 不正アクセスを防止する（パーソナルファイアウォール）
- 迷惑メールや詐欺メールを判定して処理する
- ネットワークへの不正侵入を監視する
- ネットワーク上の複数台の「ウイルスバスター」を管理する
- 有害サイトへのアクセスを制限する

詳しくは、ヘルプを確認してください。

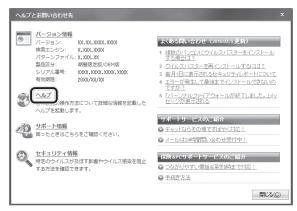
ヘルプの起動

1 ［ウイルスバスター］画面で［ヘルプとお問い合わせ先］をタップする

［ヘルプとお問い合わせ先］画面が表示されます。

2 表示された画面で［ヘルプ］をタップする

（表示例）

［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［ウイルスバスター2010］→［ウイルスバスター2010 ヘルプ］を順にタップしても表示されます。

参照 ウイルスバスターのお問い合わせ先「5章 5 お問い合わせ先」

3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する

インターネットに接続すると、世界中のいろいろなホームページを見ることができます。パソコン画面上でニュースを読む、買い物をする、調べ物をするなど便利な使いかたもできますが、なかには有害なホームページもあります。
有害なホームページへのアクセスを遮断する「i-フィルター5.0」を使用することをおすすめします。

1 i-フィルター5.0

本製品には、フィルタリング機能をもつアプリケーションとして「i-フィルター5.0」が用意されています。「i-フィルター5.0」は、ユーザーの年齢やホームページのカテゴリによってアクセスを制限し、有害なホームページは表示しないように設定することができます。

お願い 使用期限について

- あらかじめ、「付録 1 - 4 「i-フィルター5.0」について」を確認してください。

「i-フィルター5.0」の使いかたについては、「i-フィルター5.0」のヘルプをご確認ください。
「i-フィルター5.0」のヘルプは、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［i-フィルター5.0］→［i-フィルター5.0ヘルプ］をタップして起動できます。

3章

周辺機器を使って機能を広げよう

パソコンでできることをさらに広げたい。
そのためには周辺機器を接続して、機能を拡張しましょう。
この章では、周辺機器の概要やバッテリーパックの交換方法について説明しています。

1 周辺機器を使う前に

周辺機器とは、パソコンに接続して使う機器のことで、デバイスともいいます。周辺機器を使うと、パソコンの性能を高めたり、パソコンが持っていない機能を追加することができます。
周辺機器には、パソコンのカバーを開けて、パソコンの中に取り付ける内蔵方式のものと、パソコン本体の周囲にあるコネクタや端子、スロットにつなぐ外付け方式のものがあります。

■内蔵方式のもの

- バッテリー

■外付け方式のもの

本製品のインターフェースに合った周辺機器をご利用ください。
周辺機器によっては、インターフェースなどの規格が異なることがあります。インターフェースとは、機器を接続するときのケーブルやコネクタや端子、スロットの形状などの規格のことです。
購入される際には、目的に合った機能を持ち、本製品に対応している周辺機器をお選びください。
周辺機器が本製品に対応しているかどうかについては、その周辺機器のメーカーに確認してください。

お願い　周辺機器の取り付け／取りはずしにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 5 周辺機器について」を確認してください。

本製品で使用できるおもな周辺機器は、次のとおりです。

- バッテリー

参照 「本章 2」

ほかにも、次の周辺機器が使用できます。

- ヘッドホン
- USB対応機器

参照 《オンラインマニュアル》

2 バッテリーについて

パソコンは、バッテリーパックを取り付けた状態で使用してください。
バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプターを接続しない状態）で使うことができます。
本製品を初めて使用するときは、バッテリーパックを充電してから使用してください。
バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめACアダプターを接続してバッテリーパックの充電を完了（フル充電）させるか、フル充電したバッテリーパックを取り付けてください。
指定する方法・環境以外でバッテリーパックを使用した場合には、発熱、発火、破裂するなどの可能性があり、人身事故につながりかねない場合がありますので、十分ご注意をお願いします。
『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠危 険

- **バッテリーパックは、本製品に付属の製品を使用する**
  寿命などで交換する場合は、『libretto ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』に記載されている、指定の東芝製バッテリーをお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発熱、発火、破裂のおそれがあります。

お願い　バッテリーを使用するにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 6 バッテリーについて」を確認してください。

1 バッテリーパックを交換する

バッテリーパックの交換方法を説明します。
バッテリーパックの取り付け／取りはずしのときには、「スリープ」にするのではなく、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。

メモ

- キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。

1 取りはずし／取り付け

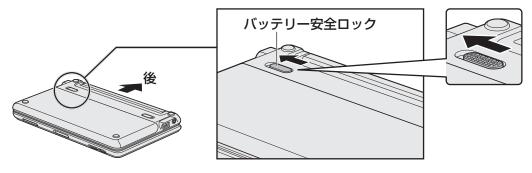
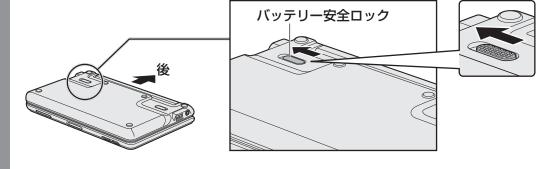
1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

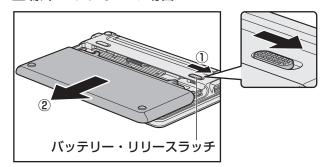
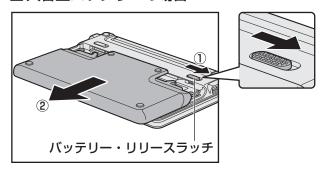
参照 電源の切りかた「1章 4-2 電源を切る」

2 パソコン本体からACアダプターと周辺機器のケーブル類をはずす

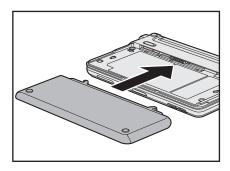
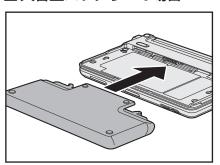
3 ディスプレイを閉じ、「libretto」ロゴが無い方を上にして置く

4 バッテリー安全ロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドする

■標準バッテリーの場合

■大容量バッテリーの場合

5 バッテリー・リリースラッチをスライドしながら①、バッテリーパックを取りはずす②

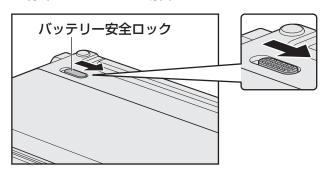
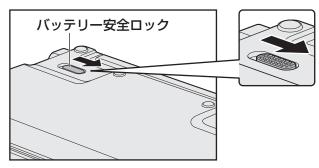
■標準バッテリーの場合

■大容量バッテリーの場合

6 交換するバッテリーパックを、「カチッ」と音がするまで静かに差し込む

新しいあるいは充電したバッテリーパックを図のように差し込みます。
バッテリー・リリースラッチが自動的にスライドして、「カチッ」という音がするまで注意して差し込んでください。

■標準バッテリーの場合

■大容量バッテリーの場合

7 **バッテリー安全ロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドする**

バッテリーパックがはずれないように、バッテリー安全ロックは必ず行ってください。

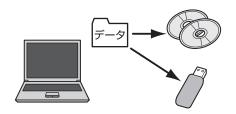
■標準バッテリーの場合

■大容量バッテリーの場合

4章

買ったときの状態に戻すには
ーリカバリーー

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「リカバリー」について説明しています。リカバリーを行うことでシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

1 バックアップをとる（Windowsが起動しないとき）

保存したファイルやフォルダーを誤って削除してしまったり、パソコンのトラブルなどによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなど、ハードディスクドライブ以外の記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

＊本製品でCDやDVDにバックアップをとる場合、外付けのCD／DVDドライブが必要です。

大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。
ここでは、Windowsが起動しない状態でのバックアップ方法について説明します。バックアップについての詳しい説明や操作方法については、《オンラインマニュアル》を参照してください。

お願い　バックアップをとるにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 7 バックアップについて」を参照してください。

1 東芝ファイルレスキューについて

「東芝ファイルレスキュー」を使うと、Windowsが起動しなくても、データのバックアップ=救助（レスキュー）することができます。
Windowsが起動せず、リカバリーをしなくてはならない場合などは、「東芝ファイルレスキュー」を使って、あらかじめデータを救助しておいてください。

本機能を使用するには、市販の外付けキーボードとマウスが必要です。あらかじめキーボードとマウス、またそれらを接続するために市販のUSBハブなどを用意してから実行してください。
以降本節では、外付けキーボードとマウスを使用することを前程に説明します。
外付けキーボードとマウスの接続方法は、『キーボードとマウスに付属の説明書』を参照してください。

お願い データを救助するにあたって

- パソコンを人に譲るときなどに、ハードディスクドライブの内容をすべて消去するのと同時に「システム回復オプション」を消去すると、「東芝ファイルレスキュー」は使用できなくなります。再度使用したい場合は、リカバリーを行ってください。
- その他の注意事項については、あらかじめ、「付録 1 - 8 「東芝ファイルレスキュー」について」を参照してください。

データの救助用に使用できる記録メディア

「東芝ファイルレスキュー」では、記録メディアにデータの救助を行います。使用できる記録メディアは、次のとおりです。

- USB接続型などの外付けハードディスクドライブ
- USBフラッシュメモリ

■外付けのCD／DVDドライブ（東芝製オプション）を接続した場合

- CD／DVD

1 データを救助する

1 USBハブなどを使い、外付けキーボードとマウスを接続する

2 救助するデータの保存先となる記録メディアをパソコンにセットする

参照 記録メディアのセット《オンラインマニュアル》

外付けのCD／DVDドライブ（別売り）を使用する場合は、あらかじめCD／DVDドライブを接続し、CD／DVDメディアをセットしてください。

参照 『CD／DVDドライブに付属の説明書』

3 「詳細ブート オプション」を起動する

①電源を入れる

②「libretto」画面が表示されて消えたらすぐに、F8キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。そのあとすぐに、F8キーを再び数回押してください。

「詳細ブート オプション」が表示されます。

4 ［コンピューターの修復］を選択し、ENTERキーを押す

キーボードの選択画面が表示されます。

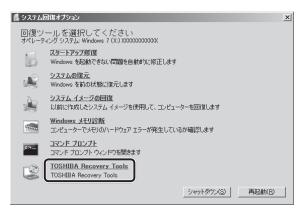
5 ［日本語］を選択し①、［次へ］ボタンをクリックする②

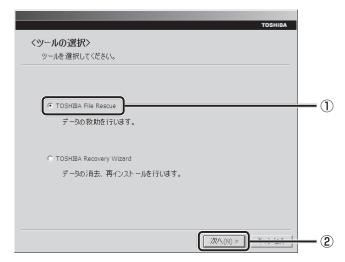
ログオン画面が表示されます。

6 ユーザー名を選択し①、Windowsログオンパスワードを入力し②、［OK］ボタンをクリックする③

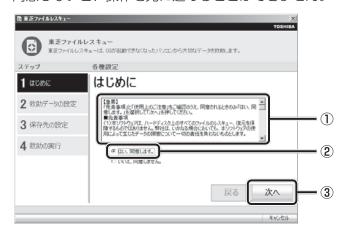
管理者ユーザーのアカウントでログオンすることをおすすめします。

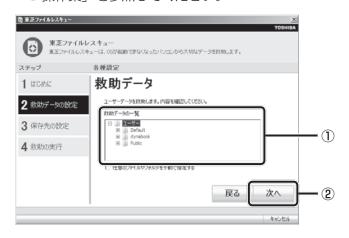
回復ツールの選択画面が表示されます。

7 ［TOSHIBA Recovery Tools］をクリックする

ツールの選択画面が表示されます。

8 ［TOSHIBA File Rescue］を選択し①、［次へ］ボタンをクリックする②

「東芝ファイルレスキュー」が起動します。

9 「免責事項」と「使用上のご注意」を確認し①、同意される場合は、[はい、同意します。] を選択し②、[次へ] ボタンをクリックする③

同意しないと、操作を先に進めることはできません。

10 救助するデータを確認し①、[次へ] ボタンをクリックする②

- 何もしないで [次へ] ボタンをタップすると、すべてのユーザーのユーザーデータを救助します。
  ユーザーデータとは、[コンピューター] - ハードディスクドライブ (C:) - [ユーザー] 内の各ユーザー名のフォルダーに保存されるファイルやフォルダーです。「ユーザー名」フォルダーにはアドレス帳やお気に入りなどのデータが保存されています。ユーザーデータの内容は、[救助データの一覧] ①で確認してください。
- 救助するファイルやフォルダーを、任意で好きなように指定したい場合は、「役立つ操作集」を参照してください。

役立つ操作集

「救助するファイルやフォルダーを任意で指定したい場合」

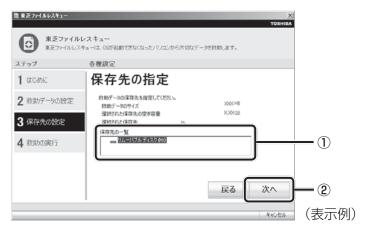
救助するファイルやフォルダーを好きなように指定するには、次のように操作してください。

① 手順 10 で、[任意のファイルやフォルダーを手動で指定する] にチェックを付け、[次へ] ボタンをクリックする

② 救助したいファイルやフォルダーにチェックを付け、[次へ] ボタンをクリックする

以降は、手順 11 から操作してください。

11 救助データの保存先を指定し①、［次へ］ボタンをクリックする②

（表示例）

外付けハードディスクドライブまたはUSBフラッシュメモリの容量が足りない場合や、記録メディアを何も接続していない場合などは、赤い字でメッセージが表示されます。
メッセージに従って、適切な記録メディアを選択してください。
救助データの確認画面が表示されます。

12 救助するデータと保存先を確認し①、［実行］ボタンをクリックする②

データの救助を開始するメッセージが表示されます。

13 ［OK］ボタンをクリックする

データの救助の進捗状況を示す画面が表示されます。救助には、長時間かかることがあります。必ず電源コードを接続した状態でご利用ください。
救助中は保存先の記録メディアを取りはずさないでください。
データの救助が完了すると、完了画面が表示されます。

14 必要に応じて［救助結果］ボタンや［復元手順］ボタンをクリックし、最後に［完了］ボタンをクリックする

- ［救助結果］ボタンをクリックすると、ファイル単位で救助の結果を表示します。
  このとき、ファイルが壊れているなどの理由で救助できなかったデータがあると、そのファイル名の左に赤い「×」が表示されます。
- ［復元手順］ボタンをクリックすると、救助データを復元する手順を表示します。

［完了］ボタンをクリックすると、電源が切れます。
引き続き、リカバリーを行う場合は「本章 2」以降を参照してください。
標準ユーザーのアカウントでデータを復元するときは管理者ユーザーの認証が必要になりますので、リカバリーをしたあとは、必ずWindowsセットアップでWindowsログオンパスワードを設定してください。

参照 Windowsセットアップ「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

2 救助したデータを復元する

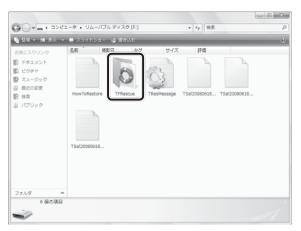
「東芝ファイルレスキュー」で救助したデータの復元方法は、次のとおりです。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

このとき、データを復元したいユーザーアカウントでログインしてください。

2 データを保存した記録メディアをパソコンに接続する

3 ［スタート］ボタン（ ）→［コンピューター］をタップし、記録メディアのドライブのアイコンをダブルタップする

4 「TFRescue」ファイルをダブルタップする

標準ユーザーのアカウントで復元プログラムを実行するときは、管理者ユーザーの認証が必要です。

接続した記録メディアに、救助したファイルが複数存在する場合は、手順 **5** へ進んでください。

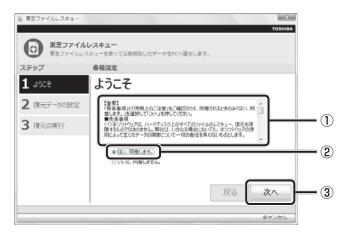
救助したファイルが1つの場合は、手順 **6** へ進んでください。

5 復元するファイルを選択し①、[OK] ボタンをタップする②

ファイルの名称は、「Tsal」のあとが、年号／月日／時分秒を示す数字となっています。これは、救助を行った日時ですので、よく確認して復元したいファイルを選択してください。

［ようこそ］画面が表示されます。

6 「免責事項」と「使用上のご注意」を確認し①、同意される場合は、［はい、同意します。］を選択し②、［次へ］ボタンをタップする③

同意しないと、操作を先に進めることはできません。

復元データを指定する画面が表示されます。

7 復元したいユーザーデータを選択し①、［次へ］ボタンをタップする②

復元データの確認画面が表示されます。

8 復元するデータを確認し①、［実行］ボタンをタップする②

メッセージが表示されます。

9 ［OK］ボタンをタップする

データ復元の進捗状況を示す画面が表示されます。
復元が完了すると、データ復元完了の画面が表示されます。

10 必要に応じて［復元結果］ボタンをタップし、最後に［完了］ボタンをタップする

［復元結果］ボタンをタップすると、ファイル単位で復元結果を表示します。
パソコンのハードディスク内のどこに復元されたかを確認することができます。

メモ　復元データ

- 復元データと同じファイルが復元先にある場合、復元データのファイル名の先頭に「_（アンダーバー）」が付きます。
- ユーザーデータ以外の任意のファイルやフォルダーを救助して復元した場合、次の場所に保存されます。
  - ・救助時にハードディスクドライブ（C:）に保存されていたデータ
    ：「C:¥ユーザー¥［ユーザー名のフォルダー］¥C」の中

2 リカバリーとは

リカバリー（再セットアップ）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう1度ご購入時の状態に復元する作業です。ハードディスクドライブ内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。
リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。
ハードディスクドライブからのリカバリーには、約2〜2.5時間かかります。リカバリーメディアからのリカバリーは、さらに1時間程度長くかかります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスクドライブにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない＊[1]
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

＊1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

メモ

- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード《オンラインマニュアル》

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］を行うことをおすすめします。

参照 「本章 5 アプリケーションを再インストールする」

それでも解消できない場合にリカバリーを行ってください。

1 リカバリーをする前に確認すること

パソコンの動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。リカバリーをしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、リカバリーを実行してください。

ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかどうかを確認してください。ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。
場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。そのときは、リカバリーを実行してください。

参照 ウイルスチェックソフト「2章 インターネットを快適に利用するために」

セーフ モードで起動できるか実行してみる

Windowsが起動できないときは、次のように実行してみてください。
本機能を使用するには、市販の外付けキーボードとマウスが必要です。あらかじめキーボードとマウス、またそれらを接続するために市販のUSBハブなどを用意してから実行してください。外付けキーボードとマウスの接続方法は、『キーボードとマウスに付属の説明書』を参照してください。

1 USBハブなどを使い、外付けキーボードとマウスを接続する

2 電源を入れる

3 ［libretto］画面が表示されて消えたらすぐに、F8キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。そのあとすぐに、F8キーを再び数回押してください。

4 メニューが表示されたら、［セーフモード］を選択し、ENTERキーを押す

最低限の機能でWindowsを起動させることができます。これで起動できた場合は、リカバリーをする前に東芝PCあんしんサポートにご相談ください。

■「システム回復オプション」で調べる

「システム回復オプション」とは、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、問題を解決して起動できるようにする方法が集まったものです。次の手順で実行してみてください。

①「本項 - セーフモードで起動できるか実行してみる」の手順 4 で［コンピューターの修復］を選択し、ENTERキーを押す

＊このとき［前回正常起動時の構成（詳細）］を選択すると、直前の正常に起動したときの状態でWindowsを起動できます。

キーボードの選択画面が表示されます。

②［日本語］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする
ログオン画面が表示されます。
③ユーザー名を選択し、Windowsログオンパスワードを入力する
④［OK］ボタンをクリックする
「システム回復オプション」が起動します。各項目の内容は、次のとおりです。

- **スタートアップ修復**
  システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動を妨げる可能性のある問題を解決し、正常に起動できるようにします。
- **システムの復元**
  システムファイルを正常に機能していた日時の状態に復元することができます。
- **システム イメージの回復**
  以前に作成したシステム イメージを使用して、コンピューターを回復します。システム イメージの詳細は、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。
- **Windows メモリ診断**
  メモリが正常に機能しているかどうかを確認します。
- **コマンド プロンプト**
  コマンドプロンプトに切り替えます。
- **TOSHIBA Recovery Tools**
  「東芝ファイルレスキュー」と、リカバリー（再セットアップ）のメニューを表示します。

⑤使いたいメニュー名をクリックする

この後の操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。

周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

USB対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再度起動して、動作を確認してみてください。また、電源関連のトラブルの場合は、バッテリーをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してみてください。

参照 機器の取りはずし「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」
《オンラインマニュアル》

ほかのトラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、「5章 1 トラブルを解消するまでの流れ」、「5章 2 Q&A集」を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも解消できないときに、リカバリーをしてください。

システムの復元で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、パソコンに問題が発生したときに、個人用のデータを失わずにパソコンを以前の状態に復元するための機能です。
詳しくは、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。

2 リカバリー（再セットアップ）の流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

バックアップをとる
参照 「本章 1 バックアップをとる」《オンラインマニュアル》

▼

リカバリー（画面の指示に従い、Windowsセットアップまで行います）

リカバリー（再セットアップ）
参照 「本章 3 リカバリー＝再セットアップをする」

▼

Windowsのセットアップ
参照 「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

▼

リカバリー後、必要に応じて行ってください。

周辺機器の接続
参照 『3章 周辺機器を使って機能を広げよう』、《オンラインマニュアル》、各機器の説明書

▼

インターネットやメールの設定
参照 「2章 1 インターネットを使うには」、《オンラインマニュアル》

▼

ウイルス対策ソフトの設定と更新
参照 「2章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

▼

Windows Update
参照 『Windows ヘルプとサポート』

▼

データの復元
参照 「本章 4 - 2 バックアップしておいたデータを復元する」

3 リカバリーをはじめる前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『librettoガイド』（本書）
- 巻末のリカバリーチェックシートをコピーしたもの
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- 外付けのCD／DVDドライブ（東芝製オプション）（リカバリーメディアからリカバリーする場合）

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、ハードディスクドライブに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊本製品でCDやDVDにバックアップをとる場合、外付けのCD／DVDドライブが必要です。

- ドキュメントのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットエクスプローラーのお気に入り
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

また、リカバリー後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
ただし、ハードディスクドライブをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、ハードディスクドライブに保存されていたデータは復元できません。

参照 バックアップについて《オンラインマニュアル》

■システムが起動しない場合

「東芝ファイルレスキュー」を使って、データのバックアップができる場合があります。

参照 東芝ファイルレスキュー「本章 1 - 1 東芝ファイルレスキューについて」

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後にインストールする必要があります。これらを再度インストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。
また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsログオン時のアカウント名などの設定項目を、メモなどに控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、有料で購入した認証キーなどがセットアップ時に必要なアプリケーションは、それらの番号を控えておいてください。確認方法は各アプリケーションのヘルプやお問い合わせ先にご確認ください。

音量を調節する

リカバリー後、Windows セットアップが終了するまで音量の調節はできません。あらかじめ、Libretto Task Barの［音量調整］アイコン（ ）で音量を調節してください。Libretto Task Barの［音量調整］アイコン（ ）で、内蔵スピーカーやヘッドホンの音量をミュート（消音）にしている場合は、Onに戻しておいてください。

無線LAN機能がONであるか確認する

無線LAN機能がONであることを確認してください。
「TOSHIBA Flash Cards」の［オンライン］のカードで、無線通信機能をONにしてください。

周辺機器をすべて取りはずす

マウスやUSB対応機器など、購入後に追加で増設した機器をすべて取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」
《オンラインマニュアル》

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。

3 リカバリー＝再セットアップをする

本製品にプレインストールされているWindowsやアプリケーションを復元する方法について説明します。
本製品のリカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

1 いくつかあるリカバリー方法

リカバリーには、次の方法があります。

- ハードディスクドライブからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常はハードディスクドライブからリカバリーをしてください。
リカバリーメディアからのリカバリーは、ハードディスクドライブのリカバリー（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクドライブからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 バックアップについて《オンラインマニュアル》

リカバリーメニューについて

次のメニューのなかからリカバリー方法を選択することができます。あらかじめリカバリー方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）

ハードディスクドライブをパソコンを購入したときの状態に戻し、購入時の状態に復元します。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

■ パーティションサイズを変更せずに復元<推奨>

現状のパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。ハードディスクドライブ(C:)に保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータはそのまま残ります。ただし、コンピューターウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、ハードディスクドライブ（C:）以外の領域にあるデータが使えないことがあります。

■ パーティションサイズを指定して復元

ハードディスクドライブ（C:）のサイズを指定して復元します。ハードディスクドライブ（C:）以外のハードディスクドライブのパーティションは消去されるため、リカバリー後、パーティションの再設定が必要です。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

メモ

- どのメニューを選択しても、ハードディスクドライブ（C:）には購入時と同じシステムが復元されます。

2 ハードディスクドライブからリカバリーをする

ここでは、「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にして説明します。

1 パソコンの電源を切る

2 ACアダプターと電源コードを接続する

3 電源スイッチを押し、[libretto] 画面が表示されている間にキーボードボタンを数回押す

参照 電源スイッチの押しかた「1章 4 - 1 - 3 電源を入れる」の手順 2

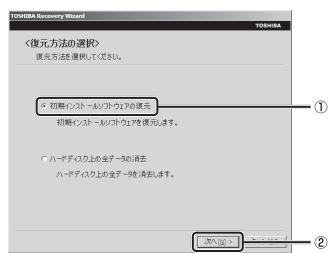
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。画面上のキーボードでパスワードを入力して Enter をタップしてください。

4 表示されたメニューから「Enter HDD Recovery」をキーボードボタンで選択し、ホームボタンを押す

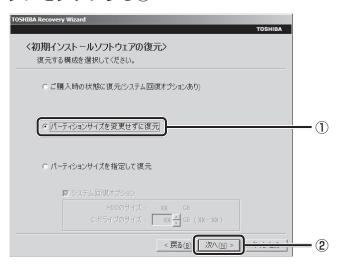
メッセージ画面が表示されます。

5 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをタップする

[復元方法の選択] 画面が表示されます。

6 [初期インストールソフトウェアの復元] をチェックし①、[次へ] ボタンをタップする②

[ハードディスク上の全データの消去] は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクドライブのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスクドライブ上にある、リカバリーツールの領域以外のすべてのデータが削除されます。

参照 「5章 4 - 2 ハードディスクドライブの内容をすべて消去する」

7 ［パーティションサイズを変更せずに復元］をチェックし①、［次へ］ボタンをタップする②

ほかのメニューを選択する場合については、次を参照してください。

- ［ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）］：P.82
- ［パーティションサイズを指定して復元］：P.82

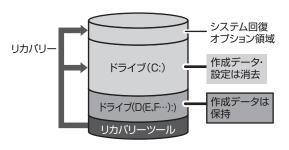
- **［パーティションサイズを変更せずに復元］の意味と動作**

  すでにハードディスクドライブの領域を分割している場合などに使用します。ハードディスクドライブ（C:）がリカバリーされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

ハードディスクドライブ（C:）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

（ハードディスクドライブの領域を分割している場合の例）

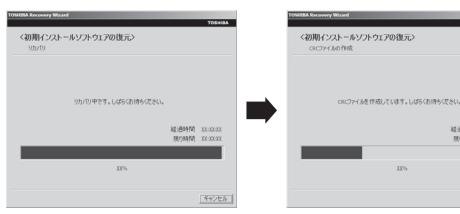
「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

- リカバリーツールとシステム回復オプションの領域が確保されているため、ハードディスクドライブの100%を使用することはできません。

8 ［次へ］ボタンをタップする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタップしてください。

［次へ］ボタンをタップすると、復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。

長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
復元中は、次の画面が表示されます。リカバリーの経過に従い、画面が変わります。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

9 ［終了］ボタンをタップする

システムが再起動し、［システムアップ中です］画面が表示されます。
ここから次の手順の［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、約1〜1.5時間かかります。この間、メッセージが表示されたり、システムが自動的に再起動したりしますが、何も操作する必要はありません。［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、お待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

10 Windowsのセットアップを行う

参照 詳細について「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

メモ

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後にアプリケーションのインストールをする必要があります。

参照 詳細について「本章 5 アプリケーションを再インストールする」

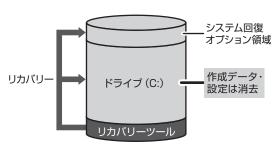
購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう1度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行ってください。

参照 機器の取りはずし「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」
《オンラインマニュアル》

その他のリカバリーメニューについて

「本項 ハードディスクドライブからリカバリーをする」の手順 7 の［初期インストールソフトウェアの復元］画面の、［パーティションサイズを変更せずに復元］以外のメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）

パソコンを購入したときの状態に戻します。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のパーティション、システム、アプリケーションが復元された状態になります。

手順 7 では、［ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）］をチェックして［次へ］ボタンをタップしてください。「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

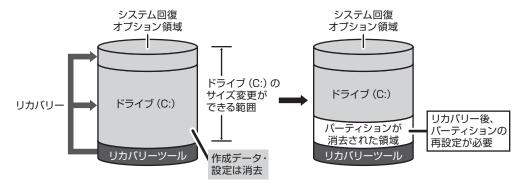
■パーティションサイズを指定して復元

ハードディスクドライブ（C:）のサイズを変更します。

ハードディスクドライブ（C:）以外の領域区分（パーティション）は消去され、1つの領域になります。この領域はそのままではドライブとして認識されず、使用することはできません。リカバリー後、「コントロールパネル」の「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。

［システム回復オプション］のチェックをはずしてリカバリーを行うと、システム回復オプション領域は消去されます。その領域も、「ディスクの管理」から設定するとドライブとして使用できるようになります。

参照 ディスクの管理「本章 4 - 1 パーティションを変更してリカバリーをした場合」

リカバリーを行うと、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

手順 7 では次の操作を行ってください。

① [パーティションサイズを指定して復元］をチェックする
② システム回復オプション領域を残す場合は［システム回復オプション］をチェックをする、消去する場合はチェックをはずす
③ [C：ドライブのサイズ］で ▲ ▼ をタップしてパーティション（ハードディスクドライブ（C:)）のサイズを指定する
④ [次へ］ボタンをタップする
「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

3 リカバリーメディアからリカバリーをする

DVDのリカバリーメディアでリカバリーする場合は、あらかじめDVD ドライブを接続してください。

参照 接続方法『DVD ドライブに付属の取扱説明書』

1 ACアダプターと電源コードを接続する

2 リカバリーメディアをセットして、パソコンの電源を切る

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク 1」からセットしてください。
USB フラッシュメモリの場合はUSB コネクタに差し込んでください。

参照 USB フラッシュメモリのセット《オンラインマニュアル》

3 電源スイッチを押し、[libretto］画面が表示されている間にキーボードボタンを数回押す

参照 電源スイッチの押しかた「1 章 4 - 1 - 3 電源を入れる」の手順 2

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。画面上のキーボードでパスワードを入力して Enter をタップしてください。

4 **表示されたメニューから起動ドライブをキーボードボタンで選択し、ホームボタンを押す**

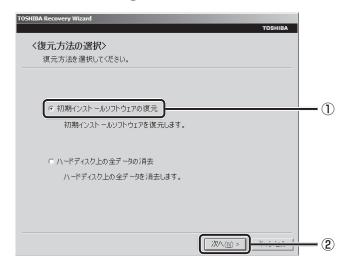
DVDのリカバリーメディアの場合は外付けのドライブを示す項目（[CD/DVD］など）、USBフラッシュメモリのリカバリーメディアの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB］など）を選択し、ホームボタンを押してください。
［復元方法の選択］画面が表示されます。

5 **[TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし①、[次へ］ボタンをタップする②**

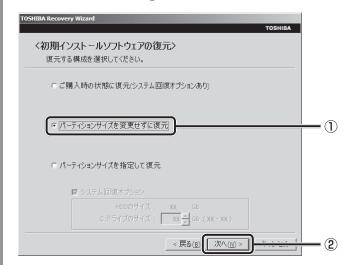
［システム回復オプション］には、パソコンを使用するうえでのさまざまなトラブルやデータ保護に対応したメニューが用意されています。
詳細は「本章 2 - 1 -「システム回復オプション」で調べる」を参照してください。

6 **画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタップする**

2枚目の［復元方法の選択］画面が表示されます。

7 ［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし①、［次へ］ボタンをタップする②

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクドライブのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスクドライブ上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 「5章 4 - 2 ハードディスクドライブの内容をすべて消去する」

8 ［パーティションサイズを変更せずに復元］をチェックし①、［次へ］ボタンをタップする②

ほかのメニューを選択する場合については、次を参照してください。

- ［ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）］：P.88
- ［パーティションサイズを指定して復元］：P.89

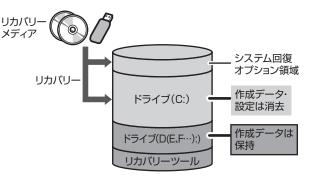
● ［パーティションサイズを変更せずに復元］の意味と動作

すでにハードディスクドライブの領域を分割している場合などに使用します。ハードディスクドライブ（C:）がリカバリーされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

ハードディスクドライブ（C:）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

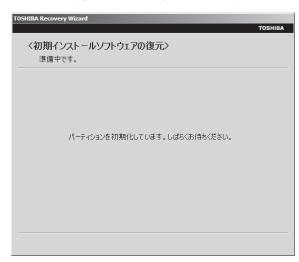
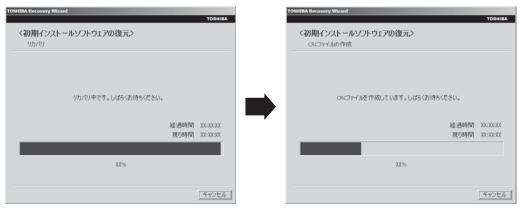
（ハードディスクドライブの領域を分割している場合の例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

● リカバリーツールとシステム回復オプションの領域が確保されているため、ハードディスクドライブの100％を使用することができません。

9 ［次へ］ボタンをタップする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタップしてください。

［次へ］ボタンをタップすると、復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。

長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
復元中は、次の画面が表示されます。リカバリーの経過に従い、画面が変わります。

＊最初に［コピーしています。］画面が表示される場合があります。長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、［OK］ボタンをタップしてください。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

10 リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■DVDの場合

①［終了］ボタンをタップする
　自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。
②リカバリーメディアを取り出す

■USBフラッシュメモリの場合

①USBフラッシュメモリを取りはずす
②［終了］ボタンをタップする

システムが再起動し、［システムアップ中です］画面が表示されます。
ここから次の手順の［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、約1～1.5時間かかります。この間、メッセージが表示されたり、システムが自動的に再起動したりしますが、何も操作する必要はありません。［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、お待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

11 Windowsのセットアップを行う

参照 詳細について「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

メモ

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後にアプリケーションのインストールをする必要があります。

  参照 詳細について「本章 5 アプリケーションを再インストールする」

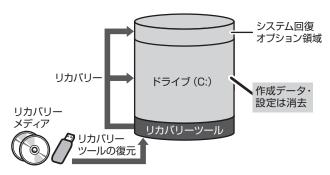
購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう1度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行ってください。

参照 機器の取りはずし「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」《オンラインマニュアル》

その他のリカバリーメニューについて

「本項 リカバリーメディアからリカバリーをする」の手順 8 の［初期インストールソフトウェアの復元］画面の、［パーティションサイズを変更せずに復元］以外のメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）

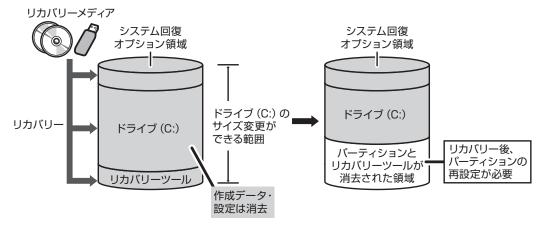
パソコンを購入したときの状態に戻します。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のパーティション、システム、アプリケーションが復元された状態になります。

手順 8 では、［ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）］をチェックして［次へ］ボタンをタップしてください。「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元

ハードディスクドライブ（C:）のサイズを変更します。
ハードディスクドライブ（C:）以外の領域区分（パーティション）とリカバリーツールの領域は消去され、1つの領域になります。この領域はそのままではドライブとして認識されず、使用することはできません。リカバリー後、「コントロールパネル」の「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。
［システム回復オプション］のチェックをはずしてリカバリーを行うと、システム回復オプション領域は消去されます。その領域も、「ディスクの管理」から設定するとドライブとして使用できるようになります。

参照 ディスクの管理「本章 4 - 1 パーティションを変更してリカバリーをした場合」

リカバリーを行うと、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

手順 8 では次の操作を行ってください。

① ［パーティションサイズを指定して復元］をチェックする
② システム回復オプション領域を残す場合は［システム回復オプション］をチェックをする、消去する場合はチェックをはずす
③ ［C：ドライブのサイズ］で ▲ ▼ をタップしてパーティション（ハードディスクドライブ（C:））のサイズを指定する
④ ［次へ］ボタンをタップする
「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

4 リカバリーをしたあとは

リカバリー後は必要に応じて、インターネットやメールの再設定、ウイルスチェックソフトの設定や更新などが必要です。

参照 詳細について「本章 2 - 2 リカバリー（再セットアップ）の流れ」

ここでは次の点を説明します。

- パーティションの設定
- バックアップデータの復元

メモ

- Office搭載モデルの場合、リカバリーをしたあとでOffice製品のライセンス認証が必要になります。

1 パーティションを変更してリカバリーをした場合

［パーティションサイズを指定して復元］を選択してリカバリーをした場合のみ、リカバリー後すみやかに次の設定を行ってください。

お願い パーティションを設定するにあたって

- Windowsの「ディスクの管理」を使用すると、ボリュームがないプライマリパーティションが表示されます。このパーティションにはリカバリー（システムの復元）するためのデータが保存されていますので、削除しないでください。削除した場合、リカバリーはできなくなります。

1 管理者ユーザーアカウントでログオンする

2 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタップする

3 ［ システムとセキュリティ］→［ 管理ツール］をタップする

4 ［ コンピューターの管理］をダブルタップする

5 画面左側の［ ディスクの管理］をタップする

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 ［ディスク0］の［未割り当て］の領域をプレス アンド ホールドする

7 表示されるメニューから［新しいシンプル ボリューム］をタップする

［新しいシンプル ボリューム ウィザード］が起動します。

8 **［次へ］ボタンをタップし、ウィザードに従って設定する**

次の項目を設定します。

・ボリューム サイズの指定
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・パーティションのフォーマット
　・ファイルシステム
　・アロケーションユニットサイズ
　・ボリュームラベル
　・クイックフォーマット
　・ファイルとフォルダーの圧縮

9 **設定内容を確認し、［完了］ボタンをタップする**

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。

詳しくは、「コンピューターの管理」のヘルプを参照してください。

■ヘルプの起動

①［コンピューターの管理］画面のメニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をタップする

2 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

■インターネット接続の設定情報

インターネット接続の設定情報は、データのバックアップがとれません。
プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で設定情報を控えておいたメモなどを元に、もう1度設定し直してください。

■「ATOK 2010 for Windows」、「MS-IME」で登録した単語

詳しくは「ATOK 2010 for Windows」、「MS-IME」のヘルプを確認してください。

■［マイ ドキュメント］、［お気に入り］のデータや、その他のファイルやフォルダーなど

- ［マイ ドキュメント］や［お気に入り］のデータ
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- お客様がインストールされたアプリケーションのデータ
- お客様が作成されたフォルダーとファイル

など

バックアップした記録メディアから、バックアップをとったデータが保存されていた場所に、データをコピーして復元してください。

参照 《オンラインマニュアル》

「東芝ファイルレスキュー」など、アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。詳しくは、アプリケーションのヘルプを参照してください。

参照 東芝ファイルレスキュー「本章 1 - 1 東芝ファイルレスキューについて」

5 アプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

アプリケーションによっては、再インストール時にID番号などが必要です。あらかじめ確認してから、再インストールすることをおすすめします。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

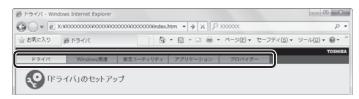
メモ

- 本操作は、必ず横置きにして行ってください。縦置きでは実行できません。

1 操作手順

1 **[スタート] ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をタップする**

2 **[セットアップ画面へ］をタップする**

アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。

（表示例）

初めて起動したときは、［ドライバー］タブが表示されています。タブをタップして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

3 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の［「XXX」のセットアップ］をタップする

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。
選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をタップしてください。

4 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをタップしてください。

5章

困ったときは

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。
また、パソコン本体を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

1 トラブルを解消するまでの流れ

お使いのパソコンに起こったトラブルについて、解決方法を見つけていきましょう。

1 トラブルの原因をつき止めよう

パソコンに起こるトラブルは、その原因がどこにあるかによって解決策が異なります。そのために、パソコンの構造をある程度知っておくことが必要です。
ここでは、パソコンの構成と、それぞれの構成部分で起こるトラブルの例、その解決方法を紹介します。

■パソコンを構成する３つの部分

- **アプリケーションソフトウェアとは**
  メールやインターネットは、アプリケーションソフトウェアの機能です。Word（ワード）（文書作成ソフト）やExcel（エクセル）（表計算ソフト）、ウイルスチェックソフトもアプリケーションソフトウェアの代表的なものです。それぞれ製造元が異なります。
- **システム、ドライバーとは**
  システムは、オペレーティングシステム、OS（オーエス）ともいい、パソコンを動かすための基本的な働きをします。本製品のシステムはWindows 7です。
  ドライバーは、周辺機器とシステムを連携する役割をします。ドライバーがないと、周辺機器は使用できません。代表的なドライバーに、ディスプレイドライバーやサウンドドライバー、マウスドライバーなどがあります。基本的なドライバーはシステムが標準装備していますが、周辺機器製品に専用のドライバーが付属している場合もあります。
- **ハードウェアとは**
  バッテリーやACアダプターはもちろん、画面（ディスプレイ）、ハードディスク、CPUなど、パソコン本体を指します。

パソコンはこれらの高度な技術の集合体です。トラブルの原因がそれぞれの製造元にしかわからない場合も多くあります。トラブルの症状に合わせた対処をすることが解決への早道です。
トラブルの解決には、最初に原因の切り分けを行います。一般的にはアプリケーションソフトウェア→システム（OS）、ドライバー→パソコン本体の順にチェックします。

STEP1 アプリケーションソフトウェアに原因がある場合

トラブル

例1： メールやインターネットがつながらない

アクセスポイントやメールサーバー、ID、パスワードなどの設定を確認します。これらの設定は契約プロバイダーごとに異なります。契約プロバイダーから指定された設定データが正しくパソコンの設定に反映されているかを確認してください。

➡

解消法

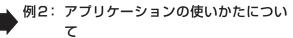
例1： プロバイダーへのお問い合わせについて

お客様ご契約のプロバイダーの窓口へお問い合わせください。

例2： アプリケーションの使いかたがわからない

各アプリケーションのヘルプなどで使いかたを確認します。

➡

例2： アプリケーションの使いかたについて

各アプリケーションのヘルプで操作方法を確認したり、各アプリケーションのサポート窓口へお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先
「本章 5 お問い合わせ先」

STEP2 システム（OS）やドライバーに原因がある場合

トラブル

例3：正常に画面が表示されない、音が出ない、設定が合っているのにインターネットにつながらない

解消法

例3・例4：ドライバーを入れ直す

再起動をすると自動的にドライバーの検出を行う場合があります。再起動後、［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

参照 再起動「1章 4 - 2 - 再起動」

例4：青い画面で「STOPOX****」（一般に「STOPエラー」や「ブルースクリーン」「ブルーパニック」と呼ばれる画面）が表示された**

例4：動作に影響を与えているアプリケーションや周辺機器を調べる

周辺機器やソフトをインストールしたあとに起こることが多いものです。その前に行った作業を一度元に戻すことでトラブルが解消される場合が少なくありません。
周辺機器を取りはずしたり、「システム構成ユーティリティ」でプログラムやサービスを停止して起動したりすることで調べることができます。

それでもトラブルが解消しない場合には、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『東芝PCサポートのご案内』

役立つ操作集

「システム構成ユーティリティ」で調べる

Windowsの動作が不安定な場合や動きが遅い場合、常駐アプリケーションや不要なサービスが影響を与えている場合があります。
まず、必要最低限のシステムで起動してみて、アプリケーションやサービスが影響を与えているかどうかを確認します。影響を与えているアプリケーションやサービスを詳しく調べるには「システム構成ユーティリティ」を使用します。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］をタップする
② 「MSCONFIG」と入力して［OK］ボタンをタップする
　［システム構成］画面が表示されます。
③ ［診断スタートアップ］を選択し、［OK］ボタンをタップする
　確認画面が表示されます。
④ ［再起動］ボタンをタップする
　Windowsが終了され、自動的に必要最低限のシステム構成で起動します。

その状態で動作の確認を行い、問題がなければ、アプリケーションやサービスがWindowsの動作に影響を与えています。

STEP3 パソコン本体に原因がある場合

トラブル		解消法
例5: ドライバーを入れなおしても機器が動かない	➡	**例5: 問い合わせる** 東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。 参照 『東芝PCサポートのご案内』 周辺機器が動作しない場合は、各周辺機器のサポート窓口へお問い合わせください。
例6: Power ⏻ LEDが点灯せず、パソコンがまったく動作しない	➡	トラブルが解消しない、あるいはまったくパソコンが動作しない場合は、パソコン本体が故障している可能性があります。 パソコンの操作について、困ったときや修理のご依頼は東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。 参照 『東芝PCサポートのご案内』

2 トラブル対処法

トラブルが発生したときの解決手順を紹介します。

STEP1 本書を読む

本書では、トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。

参照 「本章 2 Q&A集」

STEP2 ヘルプやマニュアルから探す

各ソフトのヘルプや周辺機器に付属の説明書もご確認ください。

STEP3 サポートのサイトで調べる

本製品独自のサポートサイト「あなたのdynabook.com」へ接続すると、各種サポート情報から解決方法を探すことができます。
「あなたのdynabook.com」では、ご利用のパソコンの「よくあるご質問 FAQ」、デバイスドライバーや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などをご覧になれます。
ご利用のパソコンに関する情報だけが表示されるので、目的の情報を簡単に探すことができます。また、サポート窓口や修理についても案内しています。

参照 あなたのdynabook.com『東芝PCサポートのご案内』

それでもトラブルが解消しない場合は、お問い合わせください。
本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は「本章 5 お問い合わせ先」で確認してください。

2 Q&A集

1 電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプターを接続して、電源を供給する
  （他製品用のACアダプターは使用できません）
- 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

参照 バッテリーの充電について《オンラインマニュアル》

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

A パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプター、バッテリーパックをすべて取りはずしてください。

①電源コードとACアダプターを取りはずす
　パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
②バッテリーパックを取りはずす
　電源コードとACアダプター、バッテリーパックを取りはずすと、電源が入らない状態になります。そのままの状態で、しばらく放置してください。
③バッテリーパックを取り付ける
④電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
⑤電源スイッチを押し、指をはなす
　確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

参照 電源コードとACアダプターの接続
「1章 4-1-2 電源コードとACアダプターを接続する」

参照 バッテリーパックの取り付け／取りはずしについて
「3章 2-1 バッテリーパックを交換する」

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q　電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスクドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

システムが入っている記録メディアと取り換えるか、またはドライブから記録メディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。

①電源スイッチを５秒以上押して電源を切る
②電源スイッチを押す
③[libretto］画面が表示されている間にキーボードボタンを数回押す
④表示されたメニューからシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクを示す項目）をキーボードボタンで選択し、ホームボタンを押す

A 次の手順を行うと、セーフモードまたは前回正常に起動したときの構成で起動しなおすことができます。

電源スイッチを５秒以上押して強制終了したあと、次のように操作してください。

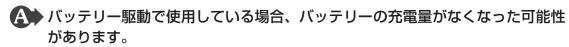
①市販の外付けキーボードを接続する

参照 接続方法『キーボードに付属の説明書』

②電源を入れる
③「libretto」画面が表示されて消えたらすぐに、F8キーを数回押す
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。そのあとすぐに、F8キーを再び数回押してください。
「詳細ブート オプション」が表示されます。
④目的に合わせて［セーフモード］または［前回正常起動時の構成（詳細）］を選択し、ENTERキーを押す

Q　使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプターを接続して、電源を供給する
  （他製品用のACアダプターは使用できません）
- 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

参照 バッテリーの充電について《オンラインマニュアル》

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが白色に点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
画面にさわると表示が復帰します。

A Power LEDがオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

①［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタップする
②［ システムとセキュリティ］→［ 電源オプション］をタップする
③［電源プランの選択］で利用するプランを選択する
④選択したプランの［プラン設定の変更］をタップする
⑤［ディスプレイの電源を切る］および［コンピューターをスリープ状態にする］で［なし］を選択する
　［バッテリ駆動］と［電源に接続］にそれぞれ設定してください。
⑥［変更の保存］ボタンをタップする

5章 困ったときは

2 画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを５秒以上押してWindowsを強制終了してください。
システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 3 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。
しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
画面にさわると表示が復帰します。

Q 画面が薄暗く、よく見えない

A 「TOSHIBA Flash Cards」の［輝度］のカードで輝度を明るくしてください。
右にドラッグすると明るくなり、左にドラッグすると暗くなります。

A 本体液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。
「電源オプション」には、本体液晶ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。
詳細は、「電源オプション」のヘルプを参照してください。
次の手順で設定を変更してください。

①［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタップする
②［ システムとセキュリティ］→［ 電源オプション］をタップする
③利用する電源プランを選択し、［プラン設定の変更］をタップする
④［プランの明るさを調整］を設定する
［バッテリ駆動］と［電源に接続］をそれぞれ設定してください。
⑤［変更の保存］ボタンをタップする

Q 画面が回転する／回転しない

A▶ 本製品は、手に持っているときの角度に合わせて画面表示が回転します。

本製品をどの角度で持っても回転しないように設定することもできます。

参照▶「librettoソフトウェア」のヘルプ

3 システム／ハードディスク

Q パソコンが応答しなくなった

A▶ アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動してください。

参照▶ 再起動「1章 4 - 2 - 再起動」

A▶ Windows起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動できない場合は、電源スイッチを５秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A▶ 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q Windowsがセーフモードで起動した

A▶ パソコンを再起動してください。

参照▶ 再起動「1章 4 - 2 - 再起動」

A▶ 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A▶ ドライバーやシステムのアップデート中（更新中）にトラブルが発生した場合は、直前の正常に起動したときの構成で起動してください。

参照▶ 前回正常に起動したときの構成で起動する
「本節 1 - Q 電源を入れたが、システムが起動しない」

A▶ アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。
アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 アンインストール『アプリケーションに付属の説明書』

A▶ 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。
周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

4 タップ（ソフトキーボード／ソフトタッチパッド）

Q タップしても反応がない

A▶ システムが処理中の可能性があります。
ポインターが輪の形（ ）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、タッチパッド、マウス、外付けキーボードなどの操作を受け付けないときがあります。
システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A▶ 省電力機能が働いた可能性があります。
しばらく操作しないと、省電力機能が働き、反応しなくなる場合があります。
もう1度タップしてください。動作が復帰します。

Q タップの感度を調節したい

A▶ 次の手順で、タップの感度を調節してください。
① [スタート] ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタップする
② [ハードウェアとサウンド] →［ペンとタッチ］をタップする
　［ペンとタッチ］画面が表示されます。
③ [フリック] タブの［感度］で［タッチ］のスライダーバーを左右にドラッグする
④ [OK] ボタンをタップする

Q タップの反応位置を調整したい

A 次の手順で、タップの反応位置を調整してください。

①[スタート]ボタン（ ）→[コントロールパネル]をタップする
②[ハードウェアとサウンド]→[Tablet PC 設定]をタップする
[Tablet PC 設定]画面が表示されます。
③[画面]タブの[ディスプレイオプション]の[ディスプレイ]で[1.Toshiba Internal 1024×600 Panel]を選択する
④[リセット]ボタンが表示されている場合は、[リセット]ボタンをタップする
⑤[調整]ボタンをタップする
⑥黒く太い線で「+」が表示されるたびに、その位置をタップする
⑦メッセージ画面が表示されたら、[はい]をタップする
⑧[画面]タブの[ディスプレイオプション]の[ディスプレイ]で[2.Toshiba Internal 1024×600 Panel]を選択する
⑨[リセット]ボタンが表示されている場合は[リセット]ボタンをタップする
⑩メッセージ画面が表示されたら、[OK]をタップする
⑪[画面]タブの[ディスプレイオプション]の[ディスプレイ]で[2.Toshiba Internal 1024×600 Panel]を選択する
⑫[調整]ボタンをタップする
⑬黒く太い線で「+」が表示されるたびに、その位置をタップする
⑭メッセージウィンドウが表示されたら、[はい]をタップする

5 マウス

＊マウスは、別売りです。

Q クリックしても反応がない

A マウスが正しく接続されていない可能性があります。
マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。マウスのプラグを正しく接続してください。

Q レーザーマウスの反応がおかしい

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。
反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、鏡など）

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。
マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

Q 光学式マウスの反応がおかしい

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。
反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、光沢紙、プラスチックなど）
- 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど）
- 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）

明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。
光学式マウスに対応したマウスパッドの使用を推奨します。光学式マウスに対応していないものやマウスパッドの模様によっては、正常に動作しない場合があります。

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。
マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

6 メッセージ

Q 「Password =」と表示された

A 「東芝HWセットアップ」で設定したパスワードを画面上のキーボードで入力し、Enter をタップしてください。
パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 起動時に「Windows再開ローダ」が表示され、Windowsが起動しない

A ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。
電源を切る前の状態は再現できません。次の操作を行ってください。

① 「Windows再開ローダ」で「復元データを削除してシステムブートメニューに進む」をキーボードボタン（外付けキーボードを接続している場合は ↑ ↓ キー）で選択し、ホームボタン（外付けキーボードを接続している場合は ENTER キー）を押す
② 「Windowsエラー回復処理」で「Windowsを通常起動する」をキーボードボタン（外付けキーボードを接続している場合は ↑ ↓ キー）で選択し、ホームボタン（外付けキーボードを接続している場合は ENTER キー）を押す
Windowsが起動します。

Q 起動時に「*** RTC Power Failure ***」「Press Home Button and set the date/time in OS」と表示され、Windowsが起動しない

A 時計用バッテリーが不足しています。

時計用バッテリーは、ACアダプターを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリーについて《オンラインマニュアル》

ACアダプターを接続後、次の手順で日付と時刻を設定してください。

①ホームボタンを押す
　Windowsが起動します。
②通知領域の日付と時刻の場所をタップする
　カレンダーと時計が表示されます。
③［日付と時刻の設定の変更］をタップする
　日付と時刻のメニューが表示されます。
④［日付と時刻の変更］をタップする
⑤日付と時刻を設定する
⑥［OK］をタップする

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について『Windows ヘルプとサポート』

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insertsystem disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing Press any key to restart」

A フロッピーディスクや、USBフラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。

7 その他

Q ハードディスクからリカバリーできなくなったときは

A ハードディスクドライブに搭載されているリカバリー（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。
また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。

「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照 リカバリーの操作方法「4章 3 - 3 リカバリーメディアからリカバリーをする」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリーパックをパソコン本体から取りはずしてから東芝PCあんしんサポートに相談してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q　このQ&A集を読んでも解決できない

A このほかにもいろいろな解決方法があります。

1 「あなたのdynabook.com」や「dynabook.com」の「よくあるご質問 FAQ」を調べる

インターネットに接続できるときは、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」でサポート情報を見てください。お問い合わせの多い質問やホットなQ&Aが掲載されています。

参照 dynabook.com『東芝PCサポートのご案内』

「A．回答・対処方法」の説明を読んでも問題が解決しない場合は、説明のあとのアンケートに引き続き、質問メールを出すこともできます。

＊ メールでの質問には「お客様登録」が必要です。

2 東芝PCあんしんサポートに電話する

パソコン本体のトラブルは、東芝PCあんしんサポートでお答えします。『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

参照 『東芝PCサポートのご案内』

Q　操作できない原因がどうしてもわからない

A パソコン本体のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先「本章 5 お問い合わせ先」

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

3 パソコンを自動的に点検する
－PCあんしん点検ユーティリティ－

「PCあんしん点検ユーティリティ」は、パソコンの調子の悪いところはないか、定期的に自動点検するアプリケーションです。
より詳しい点検が必要なときは、自己点検をおすすめするメッセージが表示されます。

1 起動方法

1 **［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［PCあんしん点検］→［PCあんしん点検ユーティリティ］をタップする**

「PCあんしん点検ユーティリティ」が起動します。

［東芝PCあんしん点検サービス Webページを開く］ボタンをタップすると、東芝のWebサイトへアクセスして、よくある事例や自己点検に関する説明を見ることができます。
詳細はヘルプを参照してください。

2 ヘルプの起動方法

［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［PCあんしん点検］→［PCあんしん点検ヘルプ］をタップする

メモ

- パソコンを点検するツールとして、東芝PC診断ツールもあります。
  東芝PC診断ツールは、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［PC診断ツール］をタップすると起動します。
  ツールの詳細はヘルプを参照してください。ヘルプは、［東芝PC診断ツール］画面の［ヘルプ］ボタンをタップすると表示されます。

4 捨てるとき／人に譲るとき

1 お客様登録の削除について

● **ホームページから削除する**

東芝ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

①インターネットで「http://room1048.jp」へ接続する

②［ログイン］ボタンをタップする

［セキュリティの警告］画面が表示された場合は、内容を確認し、［OK］ボタンをタップしてください。

③［東芝ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをタップする

お客様専用ページにログインします。

④ページ右上の［登録情報変更］をタップする

［登録情報変更メニュー］画面が表示されます。

⑤［退会］をタップし、登録を削除する

※退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、「登録情報変更メニュー」で商品削除を行ってください。

※TIDを退会されますと、「Shop1048」でのTID会員メニュー、およびポイントサービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● **電話で削除する**

「東芝ID事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局（お客様情報変更）
TEL　　：0570-09-1048（ナビダイヤル）
受付時間：10:00～17:00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

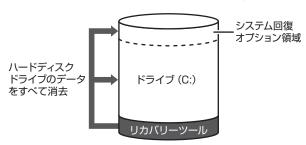
紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。
技術的なご相談や修理に関するお問い合わせは、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

またリサイクルに関しては、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

メモ　法人のお客様の場合

● 法人のお客様の場合は、ログインで表示される画面が異なります。
登録情報の変更および退会は「登録情報変更」のメニューで、ご自身で行っていただくことができますが、商品の削除ができませんので、その場合は東芝ID事務局までお電話でご連絡くださいますようお願いいたします。
詳しくは、次のホームページを参照してください。
URL：https://room1048.jp/onetoone/info/business.htm

2 ハードディスクドライブの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

（ハードディスクドライブの
リカバリーツールを使用する場合）

なお、ハードディスクドライブに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

ハードディスクドライブの内容を削除するには、ハードディスクドライブのリカバリーツール、または作成したリカバリーメディアを使用します。
ハードディスクドライブのリカバリーツールを使用すると、ハードディスクドライブ内のデータはすべて消去されますが、リカバリーツールは残ります。作成したリカバリーメディアを使用すると、ハードディスクドライブ内のデータと共にリカバリーツールも消去されます。

■ハードディスクドライブのリカバリーツールから行う方法

1 パソコンの電源を切る

2 ACアダプターと電源コードを接続する

3 電源スイッチを押し、［libretto］画面が表示されている間にキーボードボタンを数回押す

参照 電源スイッチの押しかた「1章 4 - 1 - 3 電源を入れる」の手順 2

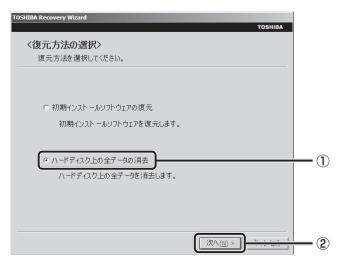
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。画面上のキーボードでパスワードを入力して Enter をタップしてください。

4 表示されたメニューから「Enter HDD Recovery」をキーボードボタンで選択し、ホームボタンを押す

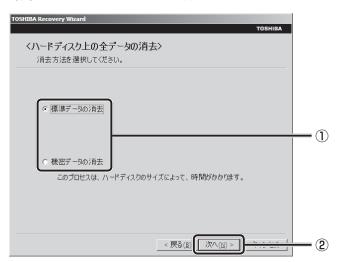
メッセージ画面が表示されます。

5 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタップする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

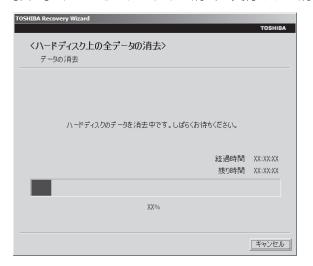
6 ［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし①、［次へ］ボタンをタップする②

消去方法を選択する画面が表示されます。

7 目的に合わせて、［標準データの消去］または［機密データの消去］をチェックし①、［次へ］ボタンをタップする②

通常は［標準データの消去］を選択してください。データを読み取れなくなります。より確実にデータを消去するためには、［機密データの消去］を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

［データの消去を開始します。］画面が表示されます。

8 ［次へ］ボタンをタップする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタップしてください。

［次へ］ボタンをタップすると消去が実行され、消去中は次の画面が表示されます。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

9 ［終了］ボタンをタップする

■リカバリーメディアから行う方法

DVDのリカバリーメディアでリカバリーする場合は、あらかじめDVDドライブを接続してください。

参照 接続方法『DVDドライブに付属の取扱説明書』

1 ACアダプターと電源コードを接続する

2 リカバリーメディアをセットして、パソコンの電源を切る

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USBフラッシュメモリのセット《オンラインマニュアル》

3 電源スイッチを押し、［libretto］画面が表示されている間にキーボードボタンを数回押す

参照 電源スイッチの押しかた「1章 4 - 1 - 3 電源を入れる」の手順 2

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。画面上のキーボードでパスワードを入力して Enter をタップしてください。

4 表示されたメニューから起動ドライブをキーボードボタンで選択し、ホームボタンを押す

DVDのリカバリーメディアの場合は外付けのドライブを示す項目（[CD/DVD] など）、USBフラッシュメモリのリカバリーメディアの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB] など）を選択し、ホームボタンを押してください。

［復元方法の選択］画面が表示されます。

5 [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし①、[次へ] ボタンをタップする②

以降は、前項の「ハードディスクドライブのリカバリーツールから行う方法」の手順 5 を参照してください。

5 お問い合わせ先
－OS／アプリケーション－

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。
各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。

＊ **2010年6月現在の内容です。**
各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

1 OSのお問い合わせ先

Windows 7についてのサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.microsoft.com/japan/windows/default.mspx

Windows 7に関する一般的なお問い合わせは、東芝PCあんしんサポートになります。

2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。
インストールされているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

ウイルスバスター2010 90日無料版	
ウイルスバスターサービスセンター	
受付時間	： 9:30～17:30
TEL	： 0570-008326 03-5334-1035（IP電話・光電話からのお問い合わせ）
E-mail	： http://tmqa.jp/r924/
ホームページ	： http://tmqa.jp/toshiba/

マカフィー・サイトアドバイザプラス
マカフィー・テクニカルサポートセンター （サイトアドバイザプラスに関する技術的な問い合わせ） 受付時間　：　9:00～21:00（年中無休） TEL　：　0570-060-033（ナビダイヤル） 03-5428-2279（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用） E-mail　：　以下のWebフォームをご利用ください。 http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_ts.asp ホームページ　：　http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/SA/
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター （サイトアドバイザプラスに関するユーザー登録や登録情報変更などの製品以外に関する問い合わせ） 受付時間　：　月曜～金曜：9:00～17:00（年末年始、祝日を除く） TEL　：　0570-030-088（ナビダイヤル） 03-5428-1792（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用） E-mail　：　以下のWebフォームをご利用ください。 http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_coc.asp ホームページ　：　http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/SA/
マカフィー・インフォメーションセンター （製品購入前の製品に関する問い合わせ、サイトアドバイザプラスでのサイト評価に関する問い合わせ） 受付時間　：　月曜～金曜：9:00～17:00（年末年始、祝日を除く） TEL　：　0570-010-220（ナビダイヤル） 03-5428-1899（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用） E-mail　：　以下のWebフォームをご利用ください。 http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/msup/information_center.asp ホームページ　：　http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/SA/
マカフィー・テクニカルサポートセンターではチャットによるサポートもご提供しています。 チャット　：　http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

ATOK 2010 for Windows

● **ユーザー登録に関するお問い合わせ**
ユーザー登録ご相談窓口

営業時間　：2010年7月27日（火）まで：10:00～19:00
2010年7月28日（水）以降：09:30～18:00
※土・日・祝日・弊社特別休業日を除く

TEL　：東京　03-5412-2624　大阪　06-6886-2624

ホームページ　：http://www.justsystems.com/jp/service/

● **製品の使い方に関するお問い合わせ**
ジャストシステムサポートセンター

＊サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。

営業時間　：2010年7月27日（火）まで：10:00～19:00
2010年7月28日（水）以降：09:30～18:00
※土・日・祝日・弊社特別休業日を除く

TEL　：東京　03-5412-3980　大阪　06-6886-7160

ホームページ　：http://support.justsystems.com/

BroadNewsStreet

ニューズウォッチ

受付時間　：平日 10:00～17:00
（土、日、祝日、およびニューズウォッチが別途定める日はサポートの対象外となります。）

E-mail　：toshibapc@newswatch.co.jp

ホームページ　：http://www.newswatch.co.jp/bns/toshibapc/

ebi.BookReader3J

株式会社 イーブック イニシアティブ ジャパン eBookJapanサポートセンター

http://www.ebookjapan.jp/ebj/support/index.asp?dealerid=107

受付時間　：10:00～18:00（土日祝日除く）

E-mail　：support@ebookjapan.co.jp

ホームページ　：http://www.ebookjapan.jp/ebj/?dealerid=107

FlipViewer／FlipBook

イーブック・システムズ株式会社　FlipViewerサポート

受付時間　：月～金（祝日除く）10:00～17:00

E-mail　：fv-support@ebooksystems.co.jp
※メールのみの対応となります。

ホームページ　：https://secure.ebooksystems.co.jp/support/FV-contact.php

Google ツールバー		
ホームページ	：	Google ツールバー http://www.google.co.jp/support/toolbar/

i-フィルター5.0		
デジタルアーツ株式会社　サポート		
受付時間	：	平日 10:00～18:00　　土・日・祝日 10:00～20:00 （デジタルアーツ指定休業日を除く）
TEL	：	平日 03-3580-5678　　土・日・祝日 0570-00-1334
よくある質問	：	http://www.daj.jp/faq/
ユーザーサポートお問い合わせフォーム	：	http://www.daj.jp/ask/

駅探エクスプレス		
駅探エクスプレスサポート		
受付時間	：	メールのため受付時間の制限はありません。 ※webmasterからの返信は、基本的に平日（10:00～18:00）の対応とさせていただいております。 また、内容により返信できない場合、回答に日数を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。
E-mail	：	express-support@ekitan.com
ホームページ	：	http://express.ekitan.com/

デジタル全国地図 いつも NAVI		
ゼンリンデータコム　お客様相談室		
受付時間	：	10:00～17:00　月～金（祝日・指定休日は除く）
E-mail	：	itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ	：	http://www.zmap.net/contactus/index.html

デ辞蔵PC		
イースト株式会社 デ辞蔵サポート係		
受付時間	：	月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始などの休業日を除く）
E-mail	：	dejizoPC@est.co.jp
ホームページ	：	http://bizpal.jp/dejizo/faq（FAQページ）
	：	https://dejizo.jp/contact.aspx（お問合せページ）

乗換案内 VER.5
ジョルダン株式会社 乗換案内ユーザーサポート 受付時間　：平日 10:00～12:00、13:00～17:00　※平日のみ TEL　：03-5369-4055 FAX　：03-5369-4064 E-mail　：norikae@jorudan.co.jp ホームページ　：http://norikae.jorudan.co.jp 2010年10月31日までの間、乗換案内のユーザー登録をしたお客様に限り1回のみインターネット経由で最新の時刻表を含むプログラムにアップデートしていただくことが可能です。インターネット環境がないお客様は、最新の時刻表を含むプログラムCD-ROMを1,260円（消費税および送料込）にて1回のみご購入いただけます。

Adobe Flash Player／Adobe Reader／ConfigFree／dynabookポータルガジェット／dynabookランチャー／Internet Explorer／Java™ 2 Runtime Environment／LaLaVoice／librettoソフトウェア／PCあんしん点検ユーティリティ／PC引越ナビ／TOSHIBA Bulletin Board／TOSHIBA Disc Creator／TOSHIBA Flash Cards／TOSHIBA Media Controller／TOSHIBA Recovery Media Creator／TOSHIBA ReelTime／TOSHIBA SD-Video PLAYER／Windows Live Messenger／Windows Live Writer／Windows Live フォトギャラリー／Windows Live ムービーメーカー／Windows Live メール／Windows Media Center／Windows Media Player／オンラインマニュアル／東芝ecoユーティリティ／東芝Face Recognition／東芝HWセットアップ／東芝PC診断ツール／東芝PCヘルスモニタ／東芝ウェブカメラアプリケーション／東芝サービスステーション／東芝省電力／東芝ファイル同期ユーティリティ／東芝ファイルレスキュー
東芝（東芝PCあんしんサポート） 全国共通電話番号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料） おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。 技術的な質問、お問い合わせは、ガイダンスの後で 1 をプッシュしてください。 技術相談窓口　受付時間：9:00～19:00（年中無休） [電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください] 海外からの電話、携帯電話、PHS、または直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。 システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、dynabook.com「サポート情報」（http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm）にてお知らせいたします。

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を､本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 パソコン本体について

画面の操作にあたって

- 画面を強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いもので操作しないでください。
- 画面上に物を置くなど、同じ位置に外圧を与え続けないでください。
- 画面が割れた場合は、画面を指で触れないでください。
- 画面が汚れた場合は、柔らかくきれいな乾いた布で軽くふきとってください。

スイッチ／ボタンの操作にあたって

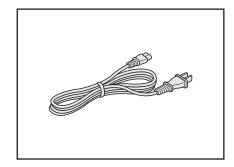
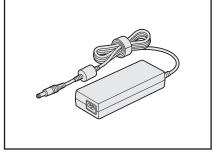
- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使わないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

付録

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。

電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。

3 ウイルスチェック・セキュリティ対策について

使用するにあたって

- ウイルスチェックソフトがあらかじめインストールされていますが、ご使用になる場合には必ずウイルス定義ファイルの最新版をダウンロードしてください。
- ウイルス感染を防止するには、常に最新のウイルス定義ファイルをダウンロードしてください。
- 本製品に添付されている「ウイルスバスター」は90日間の使用期限があります。使用期限が切れたあとは、延長の申し込み、または市販品をご検討ください。
- 市販のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールする場合は、すでにインストールしているウイルスチェックソフトをすべてアンインストールしてから行ってください。
- Windows ファイアウォールと「ウイルスバスター」のセキュリティ機能（ファイアウォールなど）が両方とも有効になっていると、アプリケーションなどが正常に動作しない場合があります。1つのセキュリティ機能のみ有効にしてください。

参照 Windows ファイアウォールについて『Windows ヘルプとサポート』

参照 ウイルスバスターのセキュリティ機能について「ウイルスバスター」のヘルプ

4 「i-フィルター5.0」について

使用期限について

- 無料使用期間はご使用開始より90日間です。無料使用期間が過ぎますと、設定がすべて解除されフィルタリング機能がご使用できなくなります。無料使用期間中に有料にて正規サービスをお申し込みいただくことで、継続して使用することができます。

5 周辺機器について

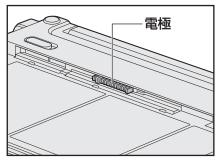
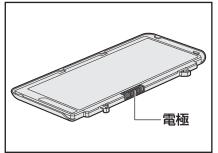
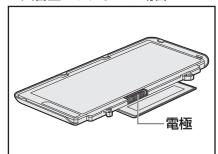
周辺機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は周辺機器によって違います。3章および《オンラインマニュアル》を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
  - ・ホットインサーションに対応していない周辺機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
  - ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
  - ・ホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
  - ・極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
  - ・静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
  - ・本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
  - ・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。

・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

6 バッテリーについて

バッテリーを使用するにあたって

- バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントからはずし、電源コネクタからACアダプタープラグを抜いてから作業を行ってください。スリープを実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- 電極に手を触れないでください。故障の原因になります。

<標準バッテリーの場合>

<大容量バッテリーの場合>

- バッテリーパックをパソコンに取り付けたあとは、バッテリー安全ロックがロック側になっていることを必ず確認してください。
  安全ロックがロック側になっていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれて落ちるおそれがあります。

  参照 詳細について「3章 2 - 1 バッテリーパックを交換する」

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。
  バッテリーを使いきってしまうと、スリープが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時計用バッテリーを使いきってしまうと、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、ACアダプターを接続してバッテリーと時計用バッテリーを充電してください。

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。バッテリーは5～35℃の室温で充電してください。

社団法人　電子情報技術産業協会の「バッテリ関連Q&A集」について
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/battery/menu1.htm

7 バックアップについて

バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。

参照 リカバリーについて「4章 買ったときの状態に戻すには」

- ハードディスクドライブや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。
  ハードディスクドライブや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

8 「東芝ファイルレスキュー」について

データを救助／復元するにあたって

- 本ソフトウェアは、ハードディスク上のすべてのファイルの救助、復元を保証するものではありません。
  当社は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの使用によって生じたデータの損害についていっさいの責任を負わないものとします。
- ハードディスクが破損している場合、または、ハードディスク上のファイルが破損している場合は、救助、復元することができません。
- 東芝ファイルレスキューは、OSが起動しないときに、ハードディスク上のファイルを別の保存用記録メディアへ退避するためのものです。その他の用途では使用しないでください。
- データを救助するとき、データ保存用の記録メディアは、パソコンの電源を入れる前に接続してください。電源を入れたあとに接続すると正しく認識されないことがあります。
- プログラムファイル、または、プログラム用のデータファイルを救助しても、復元後に正常に動作することを保証できません。
- 著作権保護、または、コピープロテクションによって保護されたファイルを救助しても、復元後に正常に動作することを保証できません。
- システム属性を持つファイル、および、暗号化されたファイルは救助できません。暗号化されたハードディスクからは、救助できません。これらの救助できないファイルは、救助対象を選択、または、確認する一覧の中に表示されません。
- データを救助するときはすべてのユーザーのユーザーデータを一度に救助することができますが、データを復元するときは一回の復元実行によって一つのユーザーアカウント分のデータだけを復元します。復元したファイルは、復元処理を実行したユーザーアカウントの所有ファイルとなります。
  ファイルの所有者となるユーザーアカウントでログオンし、復元処理を実行してください。
- 復元実行中にスリープ／休止状態へ移行する操作を行わないでください。
- データ保存用の記録メディアとしてCD／DVDを使用するときは、データを確実に救助するために、新しい記録メディアを使用することをおすすめします。

2 技術基準適合について

《オンラインマニュアル》にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、《オンラインマニュアル》の記載もあわせてご確認ください。

■瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■高調波対策について

参照 《オンラインマニュアル》

■電波障害自主規制について

参照 《オンラインマニュアル》

3 無線LANについて

＊無線LANモデルのみ

1 無線LANの概要

本製品には、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nのすべて、もしくはその一部に準拠した無線LANモジュールが内蔵されています。次の機能をサポートしています。

- 周波数チャネル選択
- マルチチャネル間のローミング
- パワーマネージメント

2 無線特性

無線LANの無線特性は、製品を購入した国／地域、購入した製品の種類により異なる場合があります。
多くの場合、無線通信は使用する国／地域の無線規制の対象になります。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない5GHz帯および2.4GHz帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。

無線周波数帯	IEEE802.11a, IEEE802.11n	5GHz（5150-5350MHz、および 5470-5725MHz）
	IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11n	2.4GHz（2400-2483MHz）
変調方式	IEEE802.11a, IEEE802.11g	直交周波数分割多重方式 OFDM-BPSK, OFDM-QPSK, OFDM-16QAM, OFDM-64QAM
	IEEE802.11b	直接拡散方式 DSSS-CCK, DSSS-DQPSK, DSSS-DBPSK
	IEEE802.11n	直交周波数分割多重方式（OFDM方式）， 空間多重方式（MIMO方式）

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

3 サポートする周波数帯域

無線LANがサポートする5GHz帯および2.4GHz 帯のチャネルは、国／地域で適用される無線規制によって異なる場合があります（表「無線IEEE802.11 チャネルセット」参照)。

■無線IEEE802.11 チャネルセット

- 5GHz帯：5150-5350MHz および、5470-5725MHz
  （IEEE802.11a、IEEE802.11nの場合）

メモ

- 5GHz帯無線LANは電波法令により屋外で使用することはできません。

	チャネルID	周波数
W52	36	5180
	40	5200
	44	5220
	48	5240
W53	52	5260
	56	5280
	60	5300
	64	5320
W56	100	5500
	104	5520
	108	5540
	112	5560
	116	5580
	120	5600
	124	5620
	128	5640
	132	5660
	136	5680
	140	5700

アクセスポイント側のチャネル（W52/W53/W56）に合わせて、そのチャネルに自動的に設定されます。

● 2.4GHz帯：2400-2483MHz（IEEE802.11b/g、IEEE802.11nの場合）

チャネルID	周波数
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457＊[1]
11	2462
12	2467
13	2472

＊1 購入時に、アドホックモード接続時に使用するチャネルとして設定されているチャネルです。

4 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。
5GHz帯無線LANは電波法令により屋外で使用することはできません。

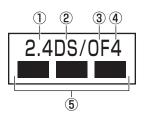
■ステッカー

本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーをパソコン本体に貼り付けてください。

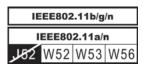
この機器の使用周波数帯は　2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

■現品表示

本製品には、次に示す現品表示が記載されています。

① 2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② DS　：変調方式がDS-SS方式であることを示す。
③ OF　：変調方式がOFDM方式であることを示す。
④ 4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
⑤ ■■■：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

付録

■JEITAロゴ表記について

5GHz帯無線LANは、W52/W53/W56チャネルをサポートしています。

■東芝PCあんしんサポート

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

5 機器認証表示について

本製品には、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、認証を受けた無線設備を内蔵しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

■Intel a/b/g/n-WiMAX モジュールの場合

無線設備名 ： 622ANXHMW
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号 ： D090856003

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品（ノートブックコンピューター）に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

6 お知らせ

無線製品の相互運用性

本製品に内蔵されている無線LANモジュールは、Direct Sequence Spread Spectrum（DSSS）／Orthogonal Frequency Division Multiplexing（OFDM）無線技術を使用するあらゆる無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers（米国電気電子技術者協会）策定のIEEE802.11 Standard on Wireless LANs（Revision a/b/g/n）（無線LAN標準規格（版数 a/b/g/n））
- Wi-Fi Allianceの定義するWireless Fidelity（Wi-Fi）認証
  Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。

健康への影響

本製品に内蔵されている無線LANモジュールは、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。
本製品に内蔵されている無線LANモジュールの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。
ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者がWireless LANの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中でWireless LAN装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Wireless LAN装置の電源を入れる前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

規制に関する情報

本製品に内蔵されている無線LANモジュールのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の取扱説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。
本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

7 使用できる国／地域について

お願い

- 本製品は、次にあげる国／地域の無線規格を取得しております。これらの国／地域以外では使用できません。

■Intel a/b/g/n-WiMAX モジュール

日本

（2010年7月現在）

- 無線LANとWiMAXは同時に使用できません。
- 802.11aおよび802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信でのアクセスポイントへの接続は、Ch1～Ch13，Ch36，Ch40，Ch44，Ch48，Ch52，Ch56，Ch60，Ch64，Ch100，Ch104，Ch108，Ch112，Ch116，Ch120，Ch124，Ch128，Ch132，Ch136，Ch140で使用できます。

4 Bluetoothについて

＊Bluetoothモデルのみ

1 物理仕様

ワイヤレス通信	通信方式	Bluetooth Specification Ver.2.1+EDR
	無線周波数帯	2.4GHz（2402～2480MHz）
	変調方式	周波数ホッピング方式　2値FSK
	出力＊1	最大＋4dBm（Power Class2）
	受信感度＊1	－70dBm
	通信距離	見通し10m＊2
電源電圧		3.3V
消費電力		最大200mA

＊1 アンテナの効率は含まれません。
＊2 周囲の電波環境、障害物、設置環境などにより異なります。

2 無線特性

Bluetoothモジュールの無線特性は、製品を購入した国、購入した製品の種類により異なる場合があります。
多くの場合、無線通信は国／地域によって使用が規制されています。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない2.4GHz 帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。
本製品のBluetooth通信機能が使用できる国／地域については、「本節 6 使用できる国／地域について」を確認してください。
無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

3 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。

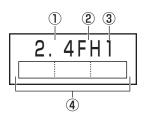
■ステッカー

本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーをパソコン本体に貼り付けてください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

■現品表示

本製品には、次に示す現品表示が記載されています。

① 2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② FH　：変調方式がFH-SS方式であることを示す。
③ 1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。
④ ［□□□］：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■東芝PCあんしんサポート

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

付録

4 機器認証表示について

本製品は、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術基準適合認証を受けております。

無線設備名 ： BSMAN3
財団法人電気通信端末機器審査協会
認証番号 ： D09-0366001

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品（ノートブックコンピューター）に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

5 お知らせ

■無線製品の相互運用性

Bluetooth 東芝製モジュールは、Frequency Hopping Spread Spectrum（FHSS）無線技術を使用するあらゆるBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group策定のBluetooth Specification Ver.2.1+EDR
- Bluetooth Special Interest Groupの定義するBluetooth ワイヤレステクノロジーのLogo認証

メモ

- 本製品はすべてのBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

(1) 本製品はBluetooth Version2.1+EDR仕様に準拠しております。
Bluetooth Version1.0B 仕様のBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。
(2) 2.4GHz帯のWireless-LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。
(3) BluetoothとWireless-LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、Wireless-LANのいずれかの使用を中止してください。

付録

■健康への影響

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品はほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。
Bluetooth 東芝製モジュールの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。
ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者がBluetooth ワイヤレステクノロジーの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中でBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

6 使用できる国／地域について

お願い

- 本製品は、次にあげる国／地域の無線規格を取得しております。これらの国／地域以外では使用できません。

アイスランド	オマーン	スイス	日本	ボリビア
アイルランド	オランダ	スウェーデン	ニュージーランド	ポルトガル
アゼルバイジャン	ガーナ	スペイン	ノルウェー	香港
アメリカ合衆国	カザフスタン	スリランカ	バーレーン	ホンジュラス
アラブ首長国連邦	カタール	スロバキア	パキスタン	マセドニア
アルゼンチン	カナダ	スロベニア	パナマ	マルタ
アルバニア	韓国	セネガル	パプアニューギニア	マレーシア
イエメン	カンボジア	セルビア	パラグアイ	南アフリカ
イギリス	キプロス	タイ	ハンガリー	メキシコ
イタリア	ギリシャ	台湾	フィリピン	モザンビーク
インド	キルギスタン	チェコ	フィンランド	モナコ
インドネシア	グアテマラ	中国	プエルトリコ	ヨルダン
ウクライナ	クウェート	チリ	フランス	ラトビア
ウルグアイ	クロアチア	デンマーク	ブルガリア	リトアニア
エクアドル	ケニア	ドイツ	ベトナム	リヒテンシュタイン
エジプト	コスタリカ	ドミニカ	ベネズエラ	ルーマニア
エストニア	コロンビア	トルコ	ペルー	ルクセンブルク
エルサルバドル	サウジアラビア	ナイジェリア	ベルギー	レソト
オーストラリア	シンガポール	ナミビア	ポーランド	レバノン
オーストリア	ジンバブエ	ニカラグア	ボスニア・ヘルツェゴビナ	ロシア

（2010年7月現在）

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

は行

ら行

わ行

リカバリー（再セットアップ）チェックシート

リカバリーは、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「4章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

1 リカバリーをする前に確認すること

□ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
□ セーフモードで起動できるかどうか実行してみる
□ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
□「5章 困ったときは」をご覧になり、ほかのトラブル解消方法を探してみる
□ システムの復元で以前の状態に復元する

2 リカバリーをはじめる前にしておくこと

□ **①準備するもの**
　□『librettoガイド』（本書）
　□ このリカバリーチェックシートをコピーしたもの
　□ リカバリーメディア（作成したリカバリーメディアからリカバリーする場合）
□ **②必要なデータのバックアップをとる**
　バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。リカバリーをすると、購入後に作成したデータはすべて消失します。
　□ ドキュメントのデータ　□購入後にデスクトップに保存したデータ
　□ インターネットエクスプローラのお気に入り
　□ メール送受信データ　□メールアドレス帳
　□ プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
　□ 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
　□ 購入後に作成したフォルダーやファイル
　参照 バックアップについて《オンラインマニュアル》
□ **③アプリケーションのセットアップ用のメディアを確認する**
　購入後にインストールしたアプリケーションなどは、リカバリー後にインストールする必要があります。リカバリーした直後は、お客様がインストールしたソフトなどは復元されません。ご購入されたメディアなどから再度インストールしてください。
□ **④各種設定を確認する**
□ **⑤あらかじめ、音量を調節する**
　リカバリー後、Windowsセットアップが終了するまで音量の調節ができないためです。
□ **⑥無線LAN機能がONであるか確認する**
□ **⑦周辺機器をすべて取りはずす**

3 リカバリー（再セットアップ）の流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

□ ①リカバリー（再セットアップ）
□ ②周辺機器（マウス・プリンターなど）を取り付けて、設定する
□ ③インターネットやメールの設定
□ ④ウイルスチェックソフトの設定と更新
□ ⑤Windows Update
□ ⑥アプリケーションのインストール
□ ⑦データの復元

東芝PC総合情報サイト

http://dynabook.com/

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料·電話サポート料無料）

おかけいただくと、ガイダンスが流れます。
ガイダンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。
ご相談の内容により、別のサポート窓口をご案内する場合がございます。
技術相談窓口受付時間：9：00～19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00～22：00（年末年始12/31～1/3を除く）

▼インターネットで修理のお申し込み

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

お問い合わせの詳細につきましては、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

libretto　librettoガイド

平成22年7月2日　第1版発行　GX1C000SP210

発 行　株式会社 東芝 デジタルプロダクツ&ネットワーク社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

© 2010 TOSHIBA CORPORATION
ALL RIGHTS RESERVED

無断複製及び転載を禁ず

ローマ字／記号入力一覧表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	ゐ		ゑ	を
WA	WI		WE	WO
ん				
NN				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
VA	VI	VU	VE	VO

うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
WHA	WHI		WHE	WHO
きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ	くぃ		くぇ	くぉ
QA	QI		QE	QO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA SHA	SYI	SYU SHU	SHE SYE	SYO SHO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JYA JA	JYI	JYU JU	JYE JE	JYO JO
すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
SWA	SWI	SWU	SWE	SWO
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
TYA CHA	TYI	TYU CHU	TYE CHE	TYO CHO
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
FWA FA	FWI FI	FWU	FWE FE	FWO FO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO

●小さい文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA	LI	LU	LE	LO
XA	XI	XU	XE	XO
		っ		
		LTU XTU		
ゃ		ゅ		ょ
LYA		LYU		LYO
XYA		XYU		XYO

■記号の入力

記号の中には読みを入力して SPACE キーを押すと変換できるものもあります。

～	※	々〃	①②ⅠⅡ	♪
から	こめ	おなじ	いち、に…	おんぷ
○◎●	↑↓←→	ヶ	〆	φ
まる	やじるし	け	しめ	ふぁい
□■◇	【】《》『』	×	㎡	
しかく	かっこ	かける	へいほうめーとる	
☆★	〒	÷	(^.^) など各種顔文字	
ほし	ゆうびん	わる	かお	

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

PRINTED WITH SOY INK
この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

GX1C000SP210
Printed in China